第２期

香南市産業振興計画

香南市

令和2年3月31日策定

令和6年4月1日更新

（令和6年度版）

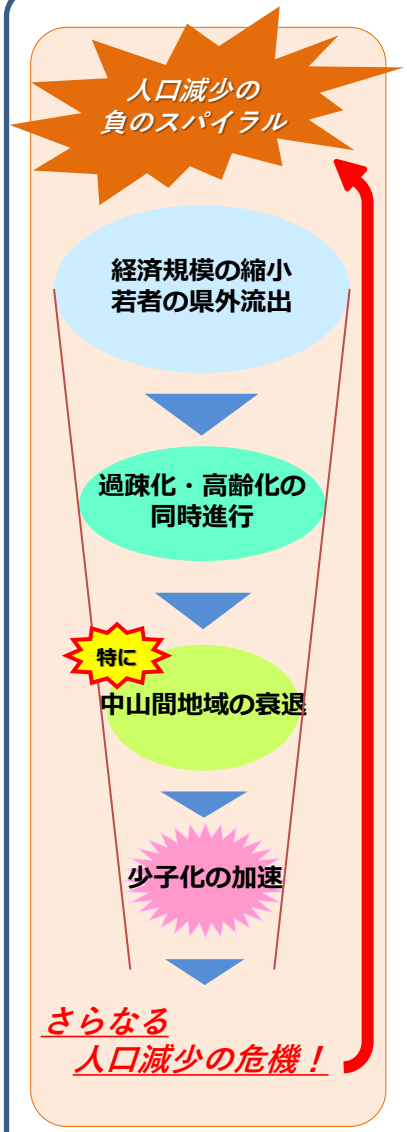
目　次

- 人口減少の負のスパイラルに陥った高知県経済　（高知県産業振興計画より抜粋）　…　1ページ
- 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた高知県の取り組み　（高知県産業振興計画より抜粋）　…　2ページ
- 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた香南市の取り組み　（香南市人口ビジョン等より抜粋）（R５年度更新）　…　3ページ
- 第1期 香南市産業振興計画の基本的な考え　…　5ページ
- 第1期 香南市産業振興計画の各分野の取り組みと強化の方向性　（R４年度更新）　…　6ページ
- 第2期 香南市産業振興計画の策定に向けて　… 10ページ
- 第2期 香南市産業振興計画の取り組みを検証するための数値目標　（R４年度更新）　… 12ページ
- 第2期香南市産業振興計画 体制図　（R５年度更新）　… 13ページ
- 香南市産業振興計画 分野別部会の取り組みについて（令和６年度版）（R６年度更新）　… 14ページ
- 第2期香南市産業振興計画におけるＳＤＧｓの取り組み　（R5年度更新）　… 23ページ
- 参考資料（第2期計画策定時の根拠数値）　… 29ページ

人口減少の負のスパイラルに陥った高知県経済（高知県産業振興計画策定の背景）　【高知県産業振興計画抜粋】

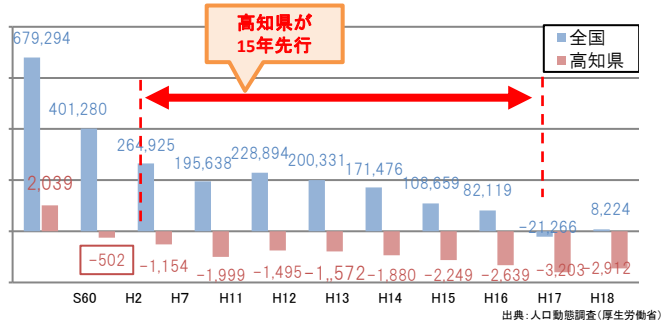
全国に先駆けて人口減少・高齢化社会に突入した高知県

高知県では、全国より15年先行して平成2年から人口が自然減の状態に陥り、人口減少による経済の縮みが若者の県外流出と特に中山間地域の衰退を招き、さらに経済が縮むことで県民の暮らしが一層苦しくなるという「人口減少の負のスパイラル」をたどってきました。



●人口が全国に15年先行して自然減

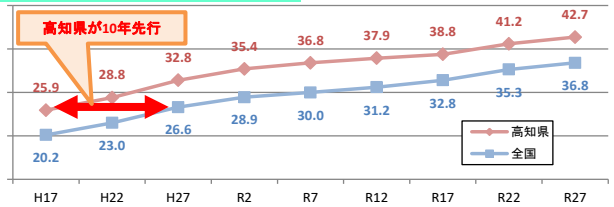
▽人口自然増減数（全国と本県との比較）



出典：人口動態調査（厚生労働省）

●高齢化がさらに進行

▽65歳以上人口の割合（全国と本県との比較）



出典：R2以降　日本の都道府県別将来推計人口（H30（2018）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）
H17～H27　国勢調査結果（高知県、総務省）

●特に中山間地域では過疎化が進む

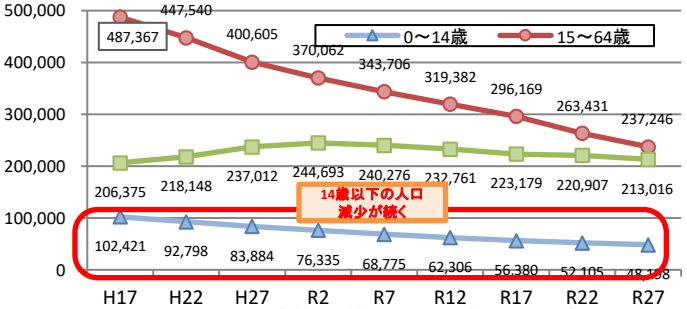
▽県全体と県内中山間地域の人口の推移（昭和35年と平成27年の比較）

	S35	H27	S35→H27減少率
高知県全体	854,595人	728,276人	**14.8%減**
中山間地域	537,327人	285,379人	**46.9%減**

出典：平成28年高知県集落調査

●少子化が加速

▽高知県の年齢3区分別人口

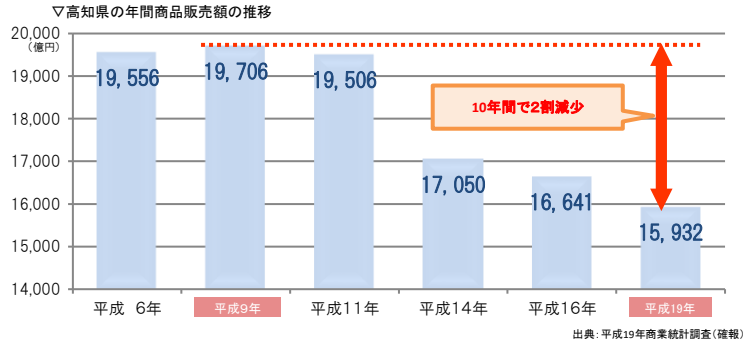


出典：R2以降　日本の都道府県別将来推計人口（H30（2018）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）
H17～H27　国勢調査結果（高知県、総務省）

「人口減少の負のスパイラル」のダメージが県経済の様々な面に表れる

● 平成9年からの10年間で本県の経済規模は大幅に縮小

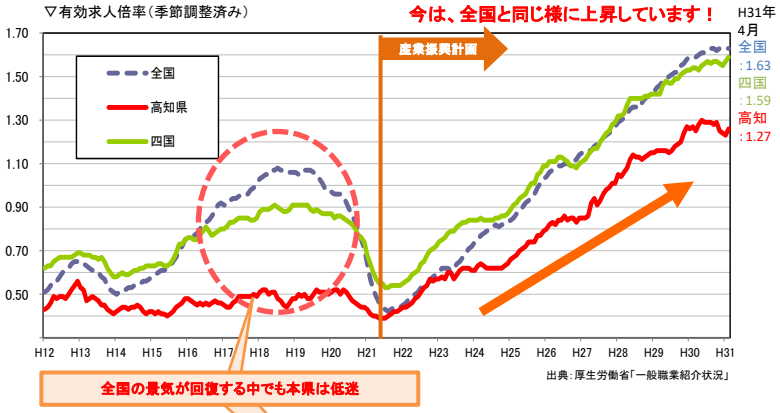
▽高知県の年間商品販売額の推移



出典：平成19年商業統計調査（確報）

● かつて、景気の回復の波に乗れず全国平均等に大きく引き離される状況が続いた

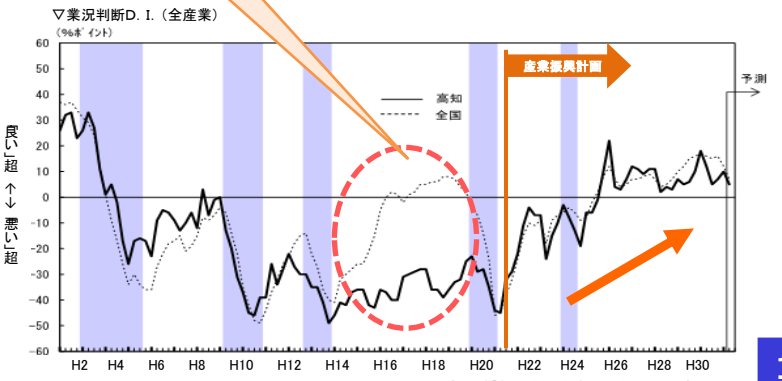
▽有効求人倍率（季節調整済み）



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

全国の景気が回復する中でも本県は低迷

▽業況判断D. I.（全産業）



出典：日本銀行高知支店「全国企業短期経済観測調査（2019.3月・高知県分）」

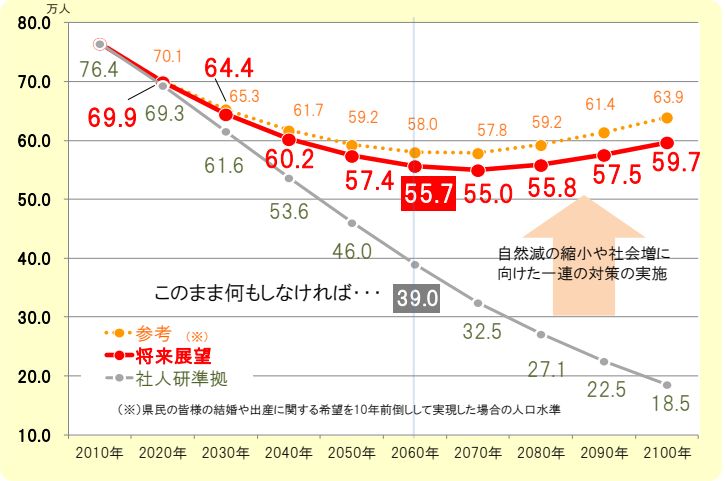
人口減少の負のスパイラルの克服に向けた高知県の取り組み　【高知県産業振興計画抜粋】

人口減少の負のスパイラルを克服することが高知県政における最大の課題です。この克服に向け、高知県においては「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、2060年の県の人口を**約55万7千人**に踏みとどまらせ、将来的な人口の若返りと人口増への転換を目指すという**『高知県人口の将来展望』**を掲げて取り組みを全力で進めています。

《将来展望》　2060年：約55.7万人

※国の推計の39万人の約140%に相当
[現状(2015年):72.8万人]

○人口構造が若返る
年少人口割合は2020年から、生産年齢人口割合は2045年から上昇に転じる



＝

若者の定着・増加

《将来展望》　2040年：1,000人の社会増
[現状（2018年度）:2,547人の社会減]

A　地産外商により雇用を創出する

B　若者の県外流出の防止
県外からの移住者の増加

×

出生率の向上

《将来展望》　2040年:2.07、2050年:2.27
[現状（2018年）:1.48]

出典：平成30年人口動態統計月報年計（概数）

D　希望をかなえる「結婚」「妊娠・出産」「子育て」

C　特に、出生率が高い傾向にある中山間地域の若者の増加
[出生率]「人口動態保健所・市区町村別統計（平成20年～24年）」
高知市：1.35
中山間地域　：四万十町1.68、土佐町1.61
津野町1.60、芸西村1.56

高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略＜平成31年度版＞の構造

産業振興計画により推進

基本目標１　地産外商により安定した雇用を創出する

A
- ●成長に向けた「メインエンジン」をさらに強化する
- ●成長の「壁」を乗り越える
- ●成長を支える取り組みを強化する

数値目標
・雇用の創出　H28～R元：4,000人
・各産業分野における産出額等の増加
[これまでの成果]
雇用保険被保険者数｜H20:178千人→H30:197千人（＋19千人）

基本目標２　新しい人の流れをつくる

B
- ●県内高校生等の県内就職の促進
- ●移住の促進　●人財の誘致

数値目標
・令和元年度に人口の社会増減をゼロにする
[これまでの成果]
社会増減｜H16～20:▲3,396人 ／年
H21～25:▲1,625人 ／年
H26～30:▲1,974人 ／年
移住者数｜H23:120組（241人）→ H30:934（1,325人）

基本目標３　若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

D
- ●ライフステージの各段階に応じた取り組みのさらなる推進
- ●官民協働による少子化対策を県民運動として展開
- ●女性の活躍の場の拡大

県民の皆様の希望をかなえるために設定した2050年の2.27の達成に向けた中間目標として設定

数値目標
・令和元年の合計特殊出生率　1.61
[これまでの成果] H20:1.36 → H30:1.48

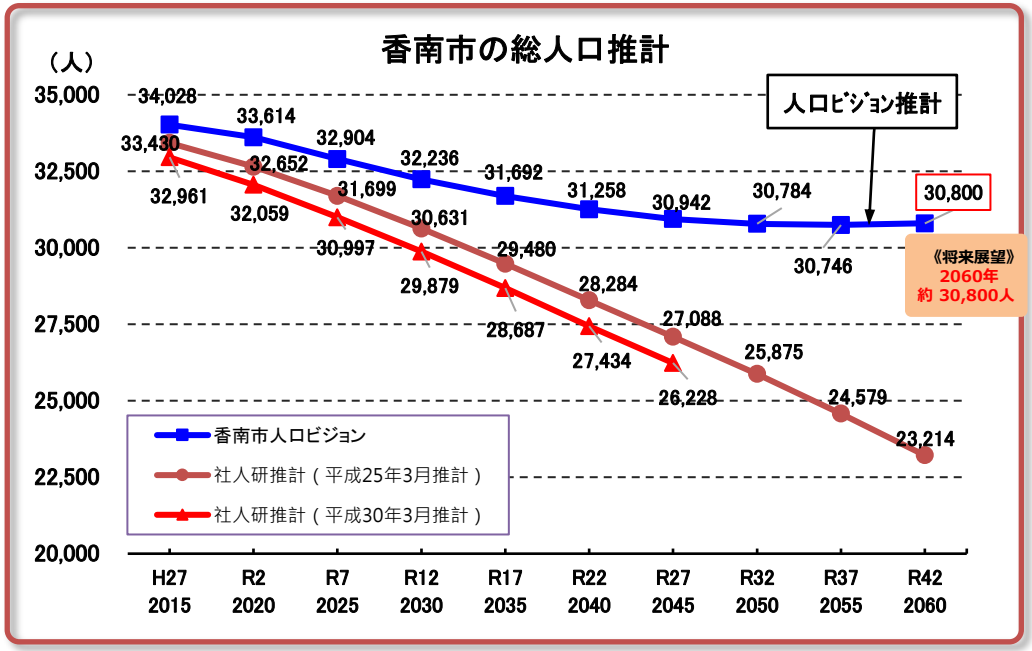
基本目標４　コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々のくらしを守る

C
- ●中山間地域での小さな拠点（集落活動センター、あったかふれあいセンター）の整備促進
- ●コンパクトな中心部と小さな拠点を衛星としたネットワークの形成

数値目標
・令和元年度末の集落活動センターの開設数　80カ所　等
[これまでの成果] R元.5月現在：29市町村52カ所

人口減少の負のスパイラルの克服に向けた香南市の取り組み　【香南市人口ビジョン・総合戦略抜粋】

- 人口減少の負のスパイラルを克服することが高知県同様に、香南市にとっても最大の課題です。
- この克服に向け、**香南市においては「香南市人口ビジョン」に、2060年の市の人口を約30,800人に踏みとどめる将来展望を掲げました。**
- その実現に向け、自然減の縮小や社会増に向けた一連の対策を講じるために、「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、活力あるまちづくりを進めるための4つの基本目標を政策テーマと定め、講ずべき具体的な施策の取り組みを全力で進めています。



出生・死亡（自然増減）

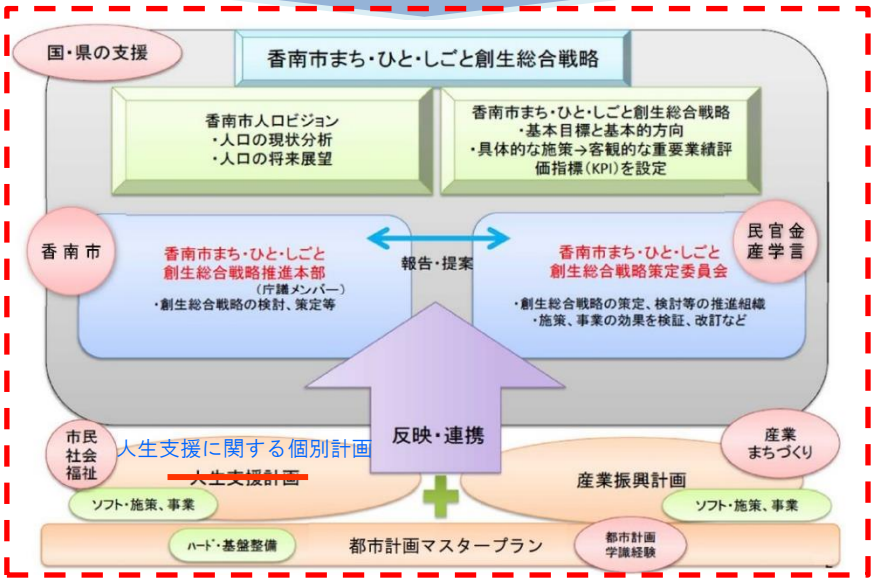
○ 出生率は、高知県実施の「結婚・出産・子育てに関する意向調査」と香南市が実施した「結婚・出産・子育てに関する市民意向調査」の結果が類似傾向にあることから、高知県が設定しているように合計特殊出生率が2030年に1.84、2040年に2.07、**2050年に2.27まで段階的に上昇する**ことを目指す。

〈出生率の推移〉現状(2015年)：1.47 ▶▶ 2020年：1.64 ▶▶ 2030年：1.84 ▶▶ 2040年：2.07

○ 死亡率については、現在と大きく変わらないと想定し、現在の傾向を維持することを目指す。

移　動　（社会増減）

○ 転入者は減少し、2025年頃には転出者と転入者数が均衡していくが、移住促進、住宅開発、生涯活躍のまち等の施策に取り組むことで、転入者の減少を極力抑え**社会増 約120人の状況が継続する**ことを目指す。



香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部（庁議メンバー）と外部委員で構成する「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会（民産官学金言）」において策定を行い、点検・検証、 必要に応じて施策の見直しを行います。

活力あるまちづくりを進めるために … 4つの基本目標！

第2期
まち・ひと・しごと
創生総合戦略！

① **魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する**

② 香南市との**つながりを強化**し、**新しいひとの流れ**をつくる

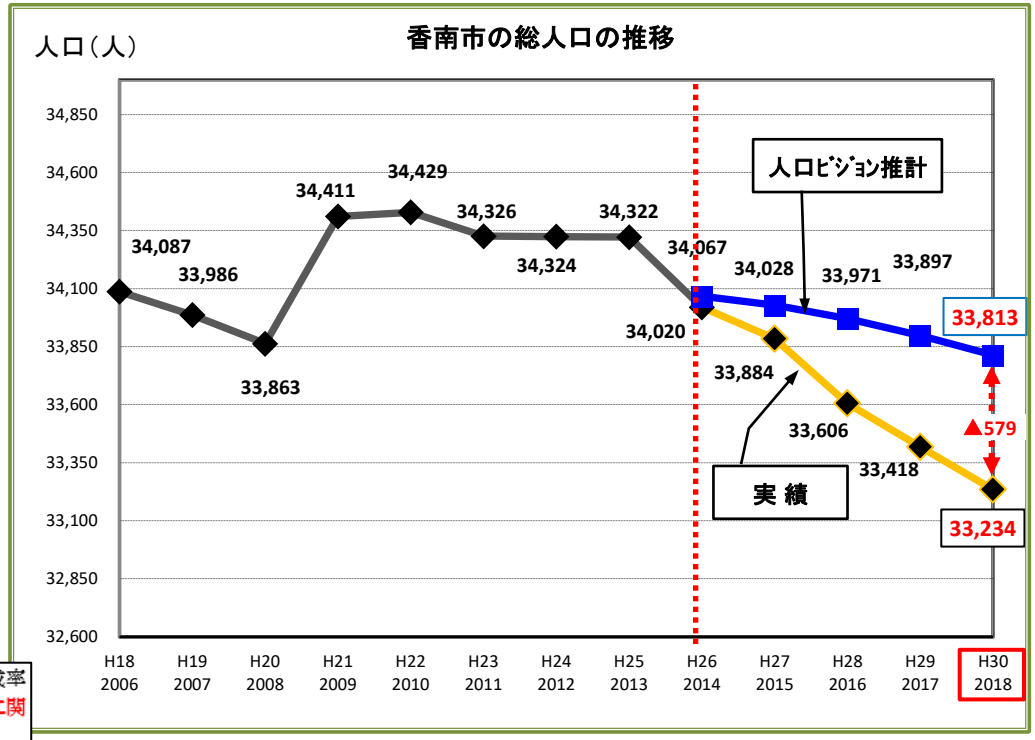
③ 若い世代の**結婚・出産・子育ての希望**をかなえる

④ **地域コミュニティーの活性化**を図り、**安心・安全な地域**をつくる

目指す姿 ▶ **「次世代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、安心してくらし働ける香南市」**

香南市における総人口の推移等 （H27.4～H31.3の状況）

総人口の推移



出典）高知県人口移動調査（3月末）

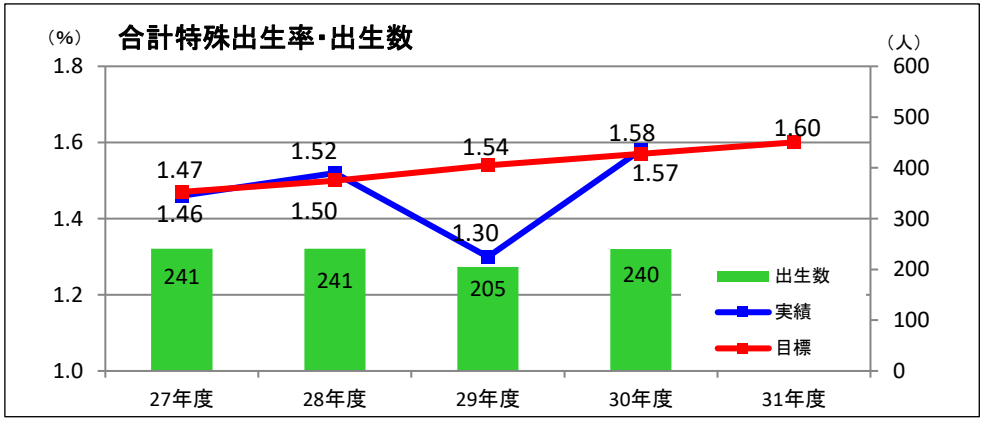
◇ 香南市における総人口の推移

人口ビジョン策定後（平成27年度）の香南市の総人口の推移については、緩やかな減少傾向にあり、平成30年3月末は33,418人で前年度比は▲188人、平成31年3月末は33,234人で前年比は▲184人となっており、人口ビジョンが目指す33,813人と比較し▲579人となっている。

2060年に30,800人を目標としている人口ビジョン推計よりも減少率は大きくなっているが、産業の振興や雇用者の増加、移住・定住促進の仕組みづくりによる移住者の増加、また、子ども、子育て支援・環境の充実支援や協働のまちづくり（防災・交流等）等少しずつではあるが、成果が出ていることから、香南市人口ビジョンについては、5年目を迎える今年度（令和元年度）での時点修正等の見直しは行わず、引き続き、人口30,800人を目標とする。

出典）香南市まち・ひと・しごと総合戦略資料より

合計特殊出生率・出生数



◇ 合計特殊出生率・出生数について

合計特殊出生率は、平成29年度は1.30と目標に届いていなかったが、平成30年度は、出生数も240人と多く、1.58と目標の1.57を上回っている。

［出生数： H27年度（241人）、H28年度（241人）、H29年度（205人）、H30年度（240人）］

平成27年度に策定した香南市人生支援計画 人生支援に関する個別計画の取り組みにおいて、人生をトータルでサポートする体制づくりに努め、ライフステージに応じた切れ目のない支援の検討や協議を行っていく。

出典）香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略資料より

◆ 香南市の人口増減

	人口（3月末）	前年比	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
平成26年度	34,020	-	245	417	-172	1,238	1,368	-130
平成27年度	33,884	-136	241	380	-139	1,353	1,350	3
平成28年度	33,606	-278	241	474	-233	1,257	1,302	-45
平成29年度	33,418	-188	205	458	-253	1,269	1,204	65
平成30年度	33,234	-184	240	445	-205	1,258	1,237	21

出典）高知県人口移動調査（3月末）

3 第1期 香南市産業振興計画の基本的な考え方

Ⅰ 高知県産業振興計画との関係性

◇ 高知県産業振興計画と連携を図り、香南市産業振興計画の基本事項を設定

■ 香南市産業振興計画の基本事項

① 目標年次
- 高知県産業振興計画の「目指す将来像」や「目標値の達成状況」との関係性を常に確認しながら当市計画を推進することで、県の取り組みとの整合を図る。

② 香南市が高知県のトップランナー
- 高知県産業振興計画の目標達成に期待される「高知県のトップランナー」としての位置づけを意識し、各種取り組みを位置付ける。

③ 基本的方向

産業間の連携を強化	足腰を強め、地力を高める	新たな産業づくりに挑戦する
• ものづくりを強化し、付加価値を高める。 • 県外からの観光客の誘致を図る。	• 第一次産業を伸ばす。 • 地域アクションプランの推進 • 中山間対策の強化	• 新たな産業集積を目指す。

◇ 香南市の地域特性を生かせる将来像
高知県産業振興計画の実現を担う計画として、香南市の地域特性を活かせる将来像を設定する。

◇ 香南市の色を出す
「香南市都市計画マスタープラン（香南市グランドザイン）」と連携して、香南市の特色を出すことができる横断的施策を位置付ける。

Ⅱ 第1期香南市産業振興計画

香南市では、産業間・企業間・産業団体・市民・行政が連携し、農業・林業・水産業・商工業・観光・住宅の6つの分野別部会を構成し、行政が主導で進める『分野別産業成長戦略』と市民や地域・団体・企業等が主体となり進める『地域活性化策』による取り組みを推し進めることで、「地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造の構築」に加え、「学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する体制」を築き、**『地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市』・『次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市』**の実現を目指すべく、平成27年度から平成31年度（令和元年度）までの5か年計画として、「香南市産業振興計画」を策定。

Ⅲ 第1期香南市産業振興計画の成功イメージ

当計画では、香南市の更なる活性化を進めるために、① 第一次産業をはじめとした「地産」を強化し、②「自立」できる持続可能な産業を創造するとともに、③「外貨」獲得に向けた付加価値化に取り組むことで、『産業の拡大』を図ることが求められている。

4-1 第１期香南市産業振興計画の各分野の取り組みと第2期の強化の方向性

分野	これまでの主な取り組み	数値目標の推移等	さらなる強化の方向性

農業分野

これまでの主な取り組み

◇ **基盤整備･防災整備の実施**
- ○ **農業生産基盤の充実**
  - ・排水機場施設整備 、 農業水利施設保全合理化事業 、 農地耕作条件改善事業 等
- ○ **防災への対策**
  - ・農村地域防災事業 、 重油流出防止装置付燃料タンク設備事業 等

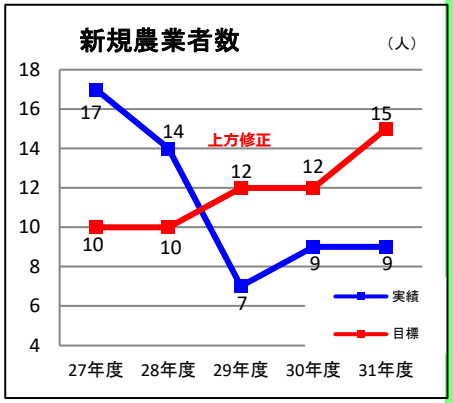
◇ **経営改善･担い手の確保につなげる取り組み**
- ○ **担い手対策の促進**
  - ･担い手育成センター研修支援事業 、 新規就農推進事業 、 農業次世代人材投資事業
    農業後継者推進事業 、 実践研修ハウス整備事業 等
- ○ **経営の改善への対応**
  - ･園芸用ハウス整備事業 、 経営所得安定対策推進事業 、 農地中間管理事業
    環境制御技術導入普及促進事業 、 産地パワーアップ事業 等
- ○ **農産物のブランド化の推進と加工品の開発**
  - ・ 農山漁村振興交付金事業
- ○ **消費者の安心安全志向への対応**
  - ・ 地産地消推進協議会補助事業 、 信頼される産地づくり支援事業 等

◇ **中山間地域の農業を継続する取り組み**
- ○ **農地の保全と活用の促進**
  - ･中山間地域等直接支払事業 、 多面的機能支払事業 等
- ○ **有害鳥獣被害の対策**
  - ･鳥獣被害対策実施事業 、 有害鳥獣被害防止事業 等

農業分野の「担い手の確保（新規農業者）」については、 新規就農者の確保のための就農支援や補助制度は充実していますが、相談の中で今後の予定を立てられていない方も多く、就農まで至らないケースが多いのが現状です。
第2期産業振興計画においても、新規就農者が増えるよう、就農支援や補助制度の拡充と就農に向けたイベント等に参加し、周知を図っていきます。
また、平成30年度に整備した実践型研修ハウスの利用が、より就農に近づくよう管理運営に努めていきます。
さらに、平成31年3月に連携協定を結んだ果樹生産者やものべみらい等７機関と連携して、「未来の地域農業モデル」を官民一体で推進し、担い手育成や山北みかんを使った新たな商品開発、観光産業にも取り組んでいきます。

数値目標の推移等

<数値目標>



※平成27･28年度は目標人数を達成できていたことから、平成28年度末に目標値を上方修正したが、翌29年度以降は目標達成には至っていない。
5年間の累計目標人数59人に対し56人となっている。

さらなる強化の方向性

○ **第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」**

数値目標 ①：『新規就農者数の確保（累計 50人/R6年度末）』

農家の高齢化や担い手不足の課題に対しては、新規就農者の確保と地域の中核となる農業者の拡大に向けた取り組みや就農に関する各種支援事業をバランス良く実施し、安定した持続可能な農業を目指し各事業に取り組み、「選ばれる産地の形成」を行い、『農で働き、農で稼ぐ香南市』としていく。

【戦略の柱①】◇ 経営改善･農地維持に向けた取り組み

第１期で行ってきた農地の保全と活用推進については、多面的機能支払事業や中山間地域等直接支払事業を活用する団体に推進を図っていく。
新たに人・農地プランの実質化を推進し、農地所有者や耕作者に対して将来の経営意思、経営方法、後継者の有無等について調査し、その結果を基に地域で協議を行っていく。
以上のことから、将来にわたって地域の農地を誰が担っていくのか、誰に農地を集積・集約化していくのか等、地域の話し合い、地域の将来像を作り、耕作放棄地の削減等に繋げていく。

【戦略の柱②】◇ 担い手の確保に向けた取り組み

東京や大阪で行われている移住フェアや農業人フェアへ参加し、香南市で農業を行う魅力を伝え、香南市での就農を促す。
また、様々な補助事業を活用し、経営の不安定な新規就農者の援助を行い、地域で暮らし、稼げる農業を確立する。

【戦略の柱③】◇基盤整備･防災への取り組み

農地耕作条件改善事業を活用して基盤整備を行い、安定した農業経営が行えるように進めて行く。
また、重油流出防止付燃料タンク整備事業を活用し、南海トラフ地震等でも災害が拡大しないように対策を進めていく。

林業分野

これまでの主な取り組み

◇ **基盤整備･の実施**
- ○ **林業の振興**
  - ･林道道路側溝整備事業 等

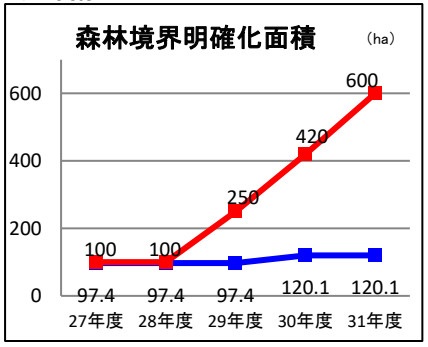
◇ **森林資源保全の実施**
- ○ **林業の振興**
  - ･緊急間伐総合支援事業、 森林整備地域活動支援事業、 水源の森整備事業
    林地台帳整備事業、 森林整備推進事業 等

◇ **木質バイオマスの活用**
- ○ **林業の振興** … 森林の活用事業 等

林業分野の「森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）」については、事業主体の香美森林組合や高知県等関係機関との連絡調整において事業未実施の年度が続いていましたが、平成30年度から事業を再開できました。
間伐事業を実施することで、植物の生態系の保全や災害の防止にもつながることから、引き続き、間伐事業に取り組むとともに、林業従事者の所得向上と雇用の創出が図ります。
また、令和元年度から譲与される森林環境税（環境譲与税）の活用を検討していきます。

数値目標の推移等

<数値目標>



さらなる強化の方向性

○ **第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」**

数値目標 ①：『間伐面積（累計 231ha/ R6年度末）』

従来より実施していた香美森林組合が事業主体である「緊急間伐総合支援事業」と、令和元年度に始まった森林環境譲与税を活用し、市が事業主体として実施する「森林管理制度間伐委託事業」により、保育・搬出間伐を実施し、森林整備を進めていく。
これにより、木材の販売収入による経済効果に加え、森林の持つ「水源かん養機能」、「土砂崩れ等の災害防止や減災機能」、「生態系保全機能」等の維持・増進を図る。

【戦略の柱①】 ◇ 森林環境保全に向けた取り組み

補助事業や森林環境譲与税を活用し、間伐（保育・搬出）や森林境界明確化、意向調査を実施する。

【戦略の柱②】 ◇ 啓発・普及への取り組み

市内の保・幼・小・中学校と連携し、授業や行事に森林体験学習を取り入れ、木育イベントを開催することで、子どもたちに山や木に親しむ機会を提供していく。

4-2 第１期香南市産業振興計画の各分野の取り組みと第2期の強化の方向性

分野	これまでの主な取り組み	各種生産額の推移等	さらなる強化の方向性

水産業分野

これまでの主な取り組み

◇ **改修整備の実施**

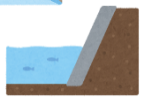
○水産業の振興

・水産機能施設の整備、 漁港施設の整備改修事業 等

◇ **経営基盤強化の実施**

○ 水産業の振興

・新規漁業就業者の確保 、 漁場の保全事業、
漁業者の所得向上にむけた事業 、 観光漁業の促進 等



◇ **生産・加工・流通・販売に向けた取り組み**

○ 水産業の振興 … 水産加工品流通販売事業 等

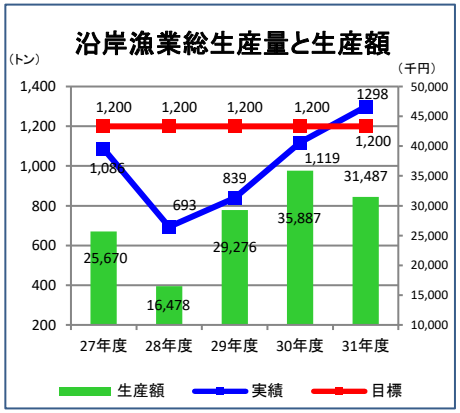
水産業分野の「沿岸漁業総生産量」については、平成28年度が693トンと例年になく不漁であったが翌年度からは総生産量は上昇し、平成30年度には目標値（1,200トン）に大きく近づいています。

また、加工・流通・販売体制の強化に取り組んだ成果もあり、水産物の流通販売では、高知県漁協手結支所の販売額が大きく伸びる等により、生産額（漁業所得）も大きく上昇しています。

今後も生産基盤の充実や担い手確保の取り組み、他分野との連携や加工・流通・販売体制を強化し、沿岸漁業総生産額の向上を図り、漁業者の所得向上による魅力ある水産業として、若者が住んで稼げる漁村を目指していきます。

各種生産額の推移等

＜数値目標＞



※平成29年度までは県漁協３支所の水揚げデータを実績としていたが、平成30年度からは市内民間企業の生産量を追加。県漁協３支所のみは平成30年度は1,058トン。

さらなる強化の方向性

○ **第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」**

数値目標 ①：『沿岸漁業総生産額（累計 1,475百万円/ R6年度末）』

沿岸漁業総生産額の向上を図り、漁業者の所得向上による魅力ある水産業として、若者が住んで稼げる漁村を目指していく。

【戦略の柱①】 ◇ 地産の強化に向けた取り組み

生産に関する施設整備、漁業者の生産性の向上に向けた取り組みを行い、地産の強化へつなげることで、効率的な生産体制の構築による漁業生産の維持へとつなげていく。

【戦略の柱②】 ◇ 流通・販売の強化に向けた取り組み

他分野との連携による市内水産物のPR等、地域をあげての取り組みと地域からの発信、香南市ブランドの確立による認知度向上を進めていくことで、魅力ある水産業、若者が住んで稼げる元気な漁村を目指す。

【戦略の柱③】 ◇ 担い手の確保に向けた取り組み

担い手の育成、確保につながる取組等を行い、今後も持続可能な水産業を目指す。

商業分野

これまでの主な取り組み

◇ **商業支援**

○既存企業の育成・支援

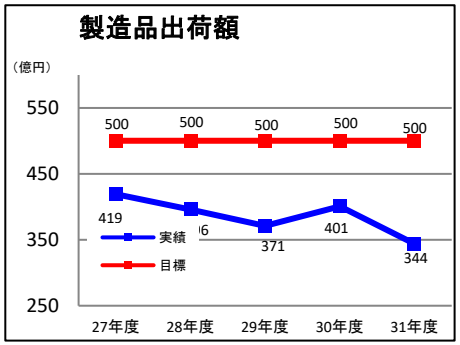
・香南市緊急融資保証料補給金事業
・魅力ある商業地商店街づくり事業
・空き店舗等の活用事業
・創業支援事業
・創業支援利子補給金交付事業 等

【商工業分野として】

商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であったことから、目標を500億円と設定しましたが、平成28年度からは減少し、目標値の達成には至りませんでした。
減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷額の減少が大きく影響していると思われます。
しかし、平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）も完了し、今後は目標値の達成に向け、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる育成支援および川谷刈谷工場用地への企業誘致に一層取り組んでいきます。
また、平成30年度には企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシン（株）と包括連携協定を締結しました。今後は連携の強化と事務系企業の誘致に積極的に取り組んでいきます。

各種生産額の推移等

＜数値目標＞



※ 第1期では、商業・工業分野を1つの分野（商工業分野）と捉え、数値目標は製造品出荷額になっている。
第2期では、分野をそれぞれに分け、各々の数値目標を設定していく。

さらなる強化の方向性

○ **第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」**

数値目標 ①：『商業者数の維持 （758事業所/R6年度末）』

増加している空き店舗のさらなる利活用や創業支援等により新たな商業者を生み出していくとともに、既存事業者への支援や後継者育成、事業承継の取り組みを進めることで、地域商業機能の維持を図る。

数値目標 ②：『新規事務系企業数（累計10企業/R6年度末）』

求職者の多くが求めている情報サービス等の事務系職種の企業誘致を図ることで、雇用の場を創出するとともに、空き店舗等をオフィスとして活用することで、新しい経済循環を創出し、地域商業の賑わいへとつなげていく。

【戦略の柱①】 ◇ 空き店舗の活用に向けた取り組み

空き店舗の活用により、地域商業のにぎわいを創出させ、市民の多様なニーズに応えられるまちへとつなげていく。

【戦略の柱②】 ◇ 担い手の確保に向けた取り組み

創業促進や後継者の育成、事業承継の推進により商業者数の維持を図る。

【戦略の柱③】 ◇ 商業支援の取り組み

既存事業者が持続的に発展できるように支援を実施する。

4-3 第１期香南市産業振興計画の各分野の取り組みと第2期の強化の方向性

分野	これまでの主な取り組み	各種生産額の推移等	さらなる強化の方向性

工業分野

これまでの主な取り組み

◇ ものづくりの基盤整備の実施

○企業誘致の促進

・香南工業団地整備事業
・香南工業団地企業立地促進事業
・企業立地優遇制度事業　等

◇ ものづくりへの支援

○ 既存企業の育成･支援

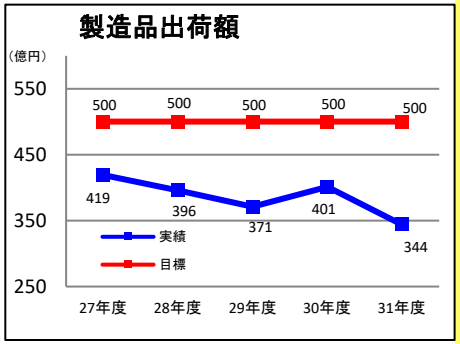
・香南市香我美町企業立地交流会の開催、香南市ものづくり会の開催
香南市産業人材育成事業　、　香南市未来人材育成奨学金返還助成事業
中小企業者の生産性向上支援事業　　等

【商工業分野として】　（再掲）

商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であったことから、目標を500億円と設定しましたが、平成28年度からは減少し、目標値の達成には至りませんでした。
減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷額の減少が大きく影響していると思われます。
しかし、平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）も完了し、今後は目標値の達成に向け、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる育成支援および川谷刈谷工場用地への企業誘致に一層取り組んでいきます。
また、平成30年度には企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシン（株）と包括連携協定を締結しました。今後は連携の強化と事務系企業の誘致に積極的に取り組んでいきます。

各種生産額の推移等

<数値目標>



※ 第1期では、商業・工業分野を1つの分野（商工業分野）と捉え、数値目標は製造品出荷額になっている。
第2期では、分野をそれぞれに分け、各々の数値目標を設定していく。

さらなる強化の方向性

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『製造品出荷額（累計 2,000億円/R6年度末）』
数値目標 ②：『新規雇用者数（累計63人/R6年度末）』

香南工業団地の完売等により、新たな企業誘致を行うための工場用地が不足しているため、新たな工業団地を整備することで、製造品出荷額の増加を目指すとともに、企業誘致による経済の活性化を促進する。
また、市内中小企業は本市の経済を支える重要な役割を果たしており、地域経済の真の発展のためには、大企業が生み出す経済効果に頼るだけでなく、中小企業の力がさまざまな分野で発揮され、市内取引・市内消費の拡大による循環によって産業が活性化することが必要不可欠であることから、引き続き既存企業の育成支援を重要施策として位置づけ、雇用の促進と生産性の向上を図るために必要な企業支援制度の見直しを行う。
以上の点を踏まえ、第２期からは、「拡大再生産による雇用の拡大と賑わい創出」をスローガンに、製造品出荷額と新規雇用者数の増加を図り、「ものづくり企業が輝き躍動する香南市」を目指す。

【戦略の柱①】 ◇ ものづくりの基盤整備の取り組み

ものづくり企業の強化につなげるための企業立地を進め、雇用の創出、生産性の向上、税収の確保へとつなげることで、拡大再生産による雇用の拡大と地域の賑わい創出へとつなげていく。

【戦略の柱②】 ◇既存企業への育成･支援に向けた取り組み

市内企業を元気にする取り組みや人材の育成、確保につながる取組を行い、香南市ブランドの構築を進め、ものづくり企業が輝き躍動する香南市へとつなげていく。

観光分野

これまでの主な取り組み

◇ 核となる観光拠点化の形成を進める

○ 新たな観光拠点の整備

・ 三宝山エリア観光拠点化事業、　ヤ･シィパーク周辺地域の活性化事業　等

○ 観光の振興

・ 歴史を中心とした博覧会事業、　加工施設間の連携、　歌舞伎で町おこし事業
塩の道事業、　物部川エリア広域観光連携事業、
市民と地域資源を総力したビジネス支援事業、
地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業　等

◇ 人材の育成に向けた取り組み

○ おもてなしの向上

･まちの案内人会事業

◇ 国際観光の推進

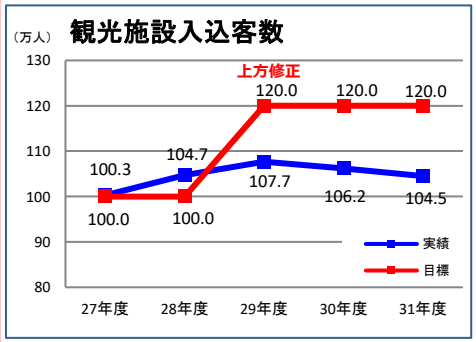
○ 外国人観光客の受入体制づくり

･外国人観光客受け入れ研修の開催　等

「観光施設入込客数」については、既存のイベントに加え、スポーツツーリズムの推進に取り組み、新規顧客の開拓やリピーターの増加を目指すことに加え、SNSの活用等、情報発信の仕組みを構築していきます。
また、平成30年度には観光拠点の磨き上げとして、ヤ･シィパークグランドデザインの策定とグランピングの整備を行いました。
今後は、それらを活かした公園内の施設の再整備や、スポーツツーリズムと連携したイベント等の開催に加え、地域の自然や食材を活かした賑わいの拠点づくりを進めていきます。

各種生産額の推移等

<数値目標>



※平成27･28年度は目標を達成しており、「志国高知 幕末維新博（H29.3.4開催）」にあわせ、平成29年2月に100万人から上方修正を行っている。
修正後は、目標達成には至っておらず、平成30年度以降においては、悪天候や豪雨災害等もあり、繁忙期の集客が減少したことから、前年度実績を下回っている。

さらなる強化の方向性

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『観光施設入込客数（累計 569万人/R6年末）』

観光施設入込客数（交流人口）の増加より、観光施設及び観光関連施設のさらなる活性化につなげていく。

【戦略の柱①】 ◇ 香南市の観光発信に向けた取り組み

香南市の情報発信を各媒体を活用し発信することで、香南市に来るきっかけづくりを行う。

【戦略の柱②】 ◇ 観光の育成に向けた取り組み

観光拠点の整備等に向けた協議や、物部川流域3市との連携を図るとともに、スポーツツーリズムを推進していくことにより、観光施設入込客数へとつなげていく。

【戦略の柱③】 ◇ 受け入れ態勢の強化に向けた取り組み

おもてなしの向上や外国人が訪れやすい環境の整備を進め、観光施設入込客数へとつなげていく。

4-4 第１期香南市産業振興計画の各分野の取り組みと第2期の強化の方向性

分野	これまでの主な取り組み	各種生産額の推移等	さらなる強化の方向性

サイクリング ※非分野 ※R4年度より削除

これまでの主な取り組み

◇ **自転車を活用した観光への取り組み**
○サイクリング事業
・イベント開催事業 、 PR事業、 レンタサイクル利用促進事業
サイクルオアシスの推進事業 等

◇ **障がいのある方や高齢者へのスポーツの推進事業**
○サイクリング事業 … タンデム自転車の利用促進事業

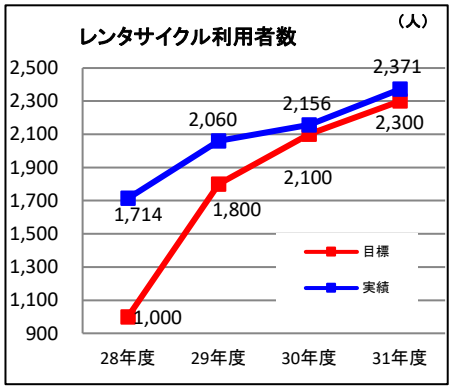
◇ **健康増進と環境に配慮した取り組み**
○サイクリング事業
・健康ポイントを活用した事業、 CO2の排出抑制事業

◇ **自転車の安全利用を推進する取り組み**
○サイクリング事業 … 交通マナーや交通事故等へのリスク対する備えの取り組み

自転車を活用した観光への取り組みとして、平成30年度に地域おこし協力隊を雇用し、取り組む方向性の検討や平成30年9月より公道走行が解禁されたタンデム自転車を活用したイベント等を開催し、取り組みの発信の強化等に取り組んできました。
また、地域おこし協力隊が市内のサイクリストや関係者に声掛けし、新たなにサイクリングを推進する団体「Ｍａｚｅ-Ｃｌｅ」を設立しました。
第2期では、引き続き、地域おこし協力隊及び推進団体と連携し、「観光と健康」をキーワードに、サイクリストの誘客や市民の機運向上に努めるとともに、香南市自転車活用推進計画の策定に向けて取り組み、サイクルオアシス等の環境整備等を含めた「サイクルツーリズム」の確立を目指します。

各種生産額の推移等

<数値目標>



※サイクリング事業は観光分野から派生し、市独自の取り組みとして、平成30年度より数値目標を設定し取り組みを行っている。

サイクリングに関する事業は、R3年度に策定された「香南市自転車活用推進計画」により経過や確認を行っていくことから、R4年度より当計画から削除する。

さらなる強化の方向性

○ **第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」**

数値目標 ①：『サイクリングイベント・大会参加者数（累計4,170人/R6年度末）』

イベント・大会による市外からのサイクリスト誘致を進めることで、観光部会の施策であるサイクルツーリズムへの寄与。
またそれによる市内飲食店等の収益増を図る。

数値目標 ②：『サイクルサポーター数 累計 30団体/R6年度末）』

観光サイクリストの受け入れには地元の理解が必要であることから、「サイクルサポーター」制度を構築し、市民の機運向上へとつなげていく。

【戦略の柱①】 ◇観光（サイクリスト誘致）

イベント・大会開催やPRを通じて「市外県外のサイクリストが来たくなるまち香南市」を目指す。また、実際に訪れてもらうことで、宿泊や飲食等で外貨を取得する。

【戦略の柱②】 ◇ 健康（市民向け）

市民へ向けた自転車への理解や機運を高め、市全体で自転車に対する取り組みを推し進めていく。この取り組みを通じてサイクルサポーターとして市民参加型でサイクリストを迎える素地づくりを行う。

【戦略の柱③】 ◇ サイクリストのための環境整備（ハード）

自転車にとって安全で走りやすくなる整備を行い、市内外に「サイクリストにやさしいまち」として定着を目指す。

住宅分野 ※R4年度より削除

これまでの主な取り組み

◇ **住環境の整備**
○住環境の整備事業
・住宅リフォーム制度の促進

◇ **市営住宅の整備**
○市営住宅の整備事業
・浄化槽等設置工事事業

◇ **住宅の耐震化**
○住宅の耐震化事業
・住宅耐震診断事業 、 住宅耐震改修事業
・コンクリートブロック塀等耐震対策事業

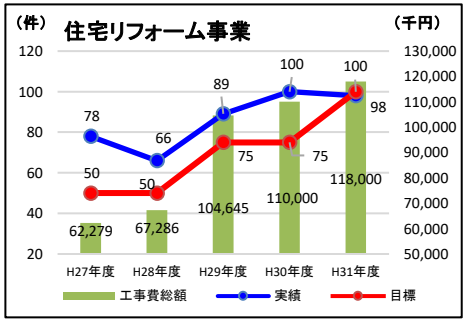
◇ **空き家対策**
○空き家対策事業
・老朽住宅等除却事業 、 空き家バンク事業
・空き家改修事業費補助事業 等

住宅分野では、住環境の整備として、市内に所有し居住する個人住宅を対象に、リフォームに対する支援を行ってきました。制度活用の需要は多く、地域経済の活性化及び生活環境の向上は図れており、引き続き、制度の周知に努めていきます。

住宅の耐震化事業では、木造住宅耐震診断や耐震改修費への補助金も整備していますが、利用は目標まで至ってはいません。
各地で震災等が発生した際には問い合わせも多くなる傾向があることから、震災前の対策として取り組んでいただけるよう周知していく必要があります。

空き家対策として、空き家バンクの登録や老朽住宅等除却事業を実施しており、実績は伸びています。老朽化した空き家は災害時の避難や延焼等多くの影響が想定されることから、引き続き、事業の周知と空き家の利活用を含めた移住施策と連携を図っていきます。

各種生産額の推移等



※ 住宅分野の取り組みから一部抜粋

住宅分野は、当市の産業振興を加速させていくためには、市民の暮らす環境を充実させていくことが重要をとの思いから設置され、まち・ひと・しごと創生総合戦略の「まち」に繋がる施策を検討してきました。

しかし、各事業が直接産業の振興に寄与することは少なく、また、数値目標も示すことが難しいことから、R4年度より、当計画から削除します。

ただし、住宅リフォーム事業は、産業の振興に繋がる取り組みと判断し、商業分野のKPIに組み替え、進捗管理を図っていきます。

さらなる強化の方向性

○ **第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」**

数値目標 ①『 - 』

住環境の整備及び空き家対策の取り組みを進め、まち・ひと・しごと創生総合戦略における「まち」の部分に寄与する。
また、担い手や労働力の確保に向けた各分野の事業をバックアップするための住宅支援策を関係各課が連携して作り上げていく。

【戦略の柱①】 ◇ 住環境の整備を支援する取り組み

住環境のリフォーム整備を進め、生活環境の向上を図ることで社会減（転出）抑制に努める。
また、住環境の耐震化を図り、安心安全なまちづくりへとつなげていく。
移住施策や防災計画、産業の担い手確保の考え等を整理し、宅地開発に向けた調整を図り、新たな「人」の流れをつくる。

【戦略の柱②】 ◇ 空き家対策に向けた取り組み

老朽化した空き家の除却を図り、市民が安全に、かつ、安心して暮らすことのできる生活環境を維持する。
また、利用可能な空き家は、ニーズに合わせてリフォーム等をすることで再生し、活用する方法もあることから、移住施策とリンクさせる取り組みを進め、社会増（転入）を図る。

第２期香南市産業振興計画の策定に向けて

これまでの取り組みから見えた課題

第1期香南市産業振興計画では、PDCAサイクルによる見直しや検証を行い、毎年度バージョンアップを図り、香南市が目指す「将来像」の実現に向け取り組みを進めてきました。
農業分野と観光分野では、当初の数値目標を達成できていたことから、平成29年度に数値目標の上方修正を図る等、取り組みの強化を行ってきましたが、その後は「数値目標」の達成には至りませんでした。
「目指す将来像」の実現には、さらなる努力が必要な状況です。

課題①　目指す「将来像」の実現に向けた取り組みの見直しの必要性

分　野	各分野の「数値目標」	第1期 目標値（累計）※1	第1期 実績値（達成率）※2
農　業	新規就農者数　（人）	59人	56人（94.9%）
林　業	林業境界明確化面（ha）	420ha	120.11ha(28.6%)
水産業	沿岸漁業総生産量（ｔ）	4,800ｔ	3,737ｔ（77.9%）
商工業	製造品出荷額　（億円）	2,500億円以上	1,931億円(77.2%)
観　光	観光施設入込客数（万人）	560万人以上	523.4万人(93.5%)
住　宅	－	－	－

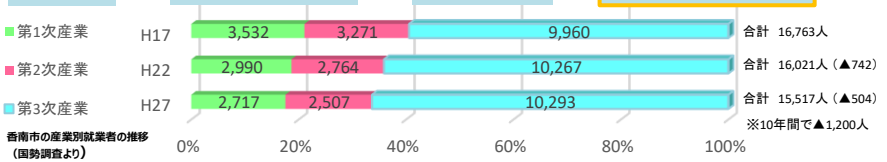
※1･2：林業・水産業はH27～H30の4年間の実績。
農業・商工業・観光はH27～R元の5年間の実績。

（現状及び課題）

- 第1期 香南市産業振興計画では、各分野ともに目標値の達成には至りませんでした。
- 本計画策定当初に設定した「数値目標」を達成するために、各事業に取り組んできましたが、その事業が直接的に「数値目標」に反映されていない傾向があります。

課題②　高齢化や若者の流出に伴う「生産力」の低下

人材の確保が困難 ▶ 生産量の拡大や新たな挑戦を断念・延期 ▶ 本市経済の成長にブレーキ ▶ 担い手・労働力の確保が必要



香南市の産業別就業者の推移（国勢調査より）

課題③　魅力ある産業化の必要性

（現状及び課題）

◆直近の求人賃金(企業等の提示額)と求職賃金（求職者が求める額）を比較するとH30.9に求職賃金が求人賃金を上回ったが、その後は下回り、R元.11月時点では13,469円の差が生まれています。当計画を前進させ、魅力ある求人賃金へとつなげていく必要があります。　（図1）

◆直近4か年の有効求人倍率は0.80から0.95と上昇傾向にあるが、香南市圏内の有効求人倍率は1.0を下回っています。今後、市内の総人口及び生産年齢人口が減少していく中で、いかに人材の確保へとつなげていくのか、また、担い手に代わる施策へと転化させていくか、当計画を前進させながら検討していく必要があります。（図2）

図1

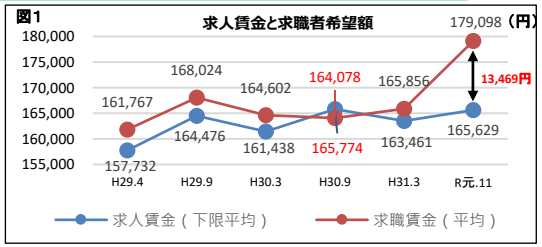
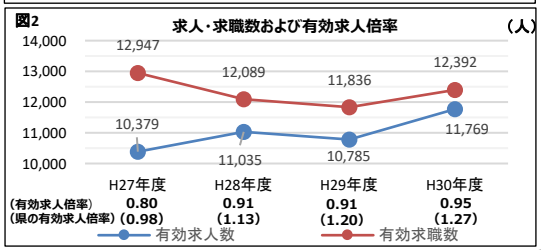


図2



（図1・2はハローワーク香美所管内データより）

目指す将来像の実現に向けた取り組みの方向性
－　第2期香南市産業振興計画の改定のポイント　－

目指す将来像
- ◇ 地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市
- ◇ 次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

改定のポイント 1　各分野の『既存の取り組み』をさらに強化！

他分野同士の連携強化！

- 香南市のさらなる活性化を進めるために、これまで取り組んできた『第一次産業をはじめとした「地産」を強化』『「自立」できる持続可能な産業を創造』『「外貨」獲得に向けた付加価値化に取り組み』をさらに強化し『産業の拡大』を図ります。
- 既存の取り組みに加え、他分野同士の連携や情報の共有をさらに強化し、「共通の課題」に対する解決策の検討や同じ方向性の事業に**スピード**をもって対応していきます。
- これにより、香南市内に点在している様々な取り組みを線で結び、面として、一体となり、香南市の産業振興につなげます。

改定のポイント 2　「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」を拡大！

- 新たな付加価値の創造こそが経済成長の源泉です。本市経済の拡大傾向を先々にわたって確かなものとしていくためには、「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」が重要になります。（次頁参照）
- 5年後、10年後を見据え、各産業分野における**「付加価値の創造を促す仕組み」**を、より多く、より質高く創り出します。

ポイント１、２により「既存の取り組み」のバージョンアップを図る！

他分野同士の連携を強化し「新たな付加価値の創造」を生むことで、既存の取り組みを前進させ、更なる連携へとつなげていきます。

他分野同士の連携等を強化！ ▶ 連携による新たな付加価値の創出 ▶ 既存の取り組みが前進！ ▶ バージョンアップ！

地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市

改定のポイント 3　担い手の確保・人材育成策のさらなる強化！

- 先々にわたる本市経済の発展の礎を築くためにも、各分野での担い手確保と人材育成が必要不可欠です。人口減少がある中でも、深刻化する人手不足・後継者不足に速やかに対処していきます。
- 各分野の現状を把握し対策を講じるとともに、他分野と連携して「担い手・労働力の確保」に向けた取り組みを強化します。
- 「次代を担う若者（子供たち）等」を対象とした事業に取り組み、将来の「市内産業の担い手」へとつなげていきます。
- 担い手に代わる先進技術の導入等に向けたサポートの実施も視野に取り組みを強化します。

改定のポイント 4　各産業の魅力化に向けた取り組みをさらに強化！

- 各分野の所得向上に向けた取り組みの強化します。
- 各分野の魅力等の発信を強化します。
- 新たな産業・企業等の誘致に向けた取り組みを強化します。

ポイント１、２により生み出された『仕事』と、ポイント３、４により生み出された『担い手（人材）』をより確実につなげていく！

『仕事』×「担い手（人材）」

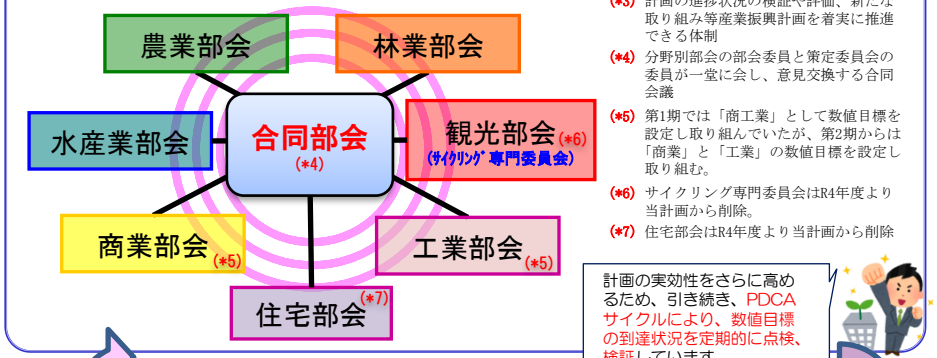
次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

5-2 第２期香南市産業振興計画の策定に向けて（基本的な考え方）

改定のポイント1　各分野の『既存の取り組み』をさらに強化！　他分野同士の連携強化！

- 香南市では、計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルによる数値目標の到達状況の点検・検証等に引き続き取り組むことに加え、他分野同士の連携や情報の共有をさらに強化し、スピードをもって取り組むことで、香南市に点在している様々な産業の取り組みを「線」で結び、各産業が一体となって『香南市の産業振興』につなげていきます。

香南市産業振興計画推進分野別部会（*3）の連携強化



(*3) 計画の進捗状況の検証や評価、新たな取り組み等産業振興計画を着実に推進できる体制
(*4) 分野別部会の部会委員と策定委員会の委員が一堂に会し、意見交換する合同会議
(*5) 第1期では「商工業」として数値目標を設定し取り組んでいたが、第2期からは「商業」と「工業」の数値目標を設定し取り組む。
(*6) サイクリング専門委員会はR4年度より当計画から削除。
(*7) 住宅部会はR4年度より当計画から削除

計画の実効性をさらに高めるため、引き続き、PDCAサイクルにより、数値目標の到達状況を定期的に点検、検証しています。

UP!　UP!

双方の取り組みにより分野ごとの取り組みを前進！

改定のポイント2　「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」を拡大！

- 本市経済の拡大傾向を先々にわたって確かなものとしていくためには、「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」が重要です。
- 5年後、10年後を見据え、各産業分野における「付加価値の創造を促す仕組み」を、より多く、より質高く創り出していきます。

継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み（例）

量的な拡大

☆ ハード設備の充実に向けた取組　☆ ソフト機能の充実に向けた取組
☆ 他分野・産業との連携に向けたサポート体制の充実
☆ 市外からの企業誘致の実現に向けた支援策の充実
☆ 小さな取り組みの吸い上げを強化　等

質的な拡大

☆ 新技術導入の促進　☆外商等の促進（外貨獲得等）
☆ 新規事業への積極的支援
☆ 付加価値化に向けた事業の支援
☆ 体験等を発信する機会の強化　等

改定のポイント3　担い手の確保・人材育成策のさらなる強化！

- 先々にわたる本市経済の発展の礎を築くためにも、各分野での担い手確保と人材育成が必要不可欠です。人口減少がある中でも、深刻化する人手不足・後継者不足に速やかに対処していきます。
- 各分野の現状を把握し対策を講じるとともに、他分野と連携して「担い手・労働力の確保」に向けて取り組みを強化します。
- 「次代を担う若者（子供たち）等」を対象とした事業に取り組み、将来の「市内産業の担い手」へとつなげていきます。
- 担い手に代わる先進技術の導入等に向けたサポートの実施も視野に取り組みを強化します。

各分野の取り組みを強化

【農　業】　農業次世代人材投資事業 ・ 担い手支援事業 ・ 農業後継者推進事業 等
【林　業】　木工育事業
【水産業】　学校給食への納入事業（食育） ・ 高知県漁業就業支援センターとの連携 等
【商　業】　事務系企業の誘致 ・ 起業支援 ・ 事業承継 ・ 未来人材育成奨学金返還助成事業 等
【工　業】　香南市産業人材育成事業 ・ 合同企業説明会の実施 ・ものづくり教育推進事業 等
【観　光】　外国人観光客の受入体制づくり
【サイクリング】　サイクルサポーター事業 ・ タンデム自転車のパイロット育成事業 等　※ サイクリング事業はR4年度より香南市自転車活用推進計画」により経過や確認を行っていく。

改定のポイント4　各産業の魅力化に向けた取り組みをさらに強化！

- 各分野の所得向上に向けた取り組みを強化します。
- 各分野の魅力等の発信を強化します。
- 新たな産業・企業の誘致等に向けた取り組みを強化します。

各分野の取り組みの強化

【農　業】　園芸用ハウス整備事業 ・ 環境制御技術導入普及推進事業 ・ 農産物のブランド化事業 等
【水産業】　沿岸漁業設備投資促進事業 ・ 市内水産物の魚価向上 ・ シラスの加工販売額 等
【商　業】　商店街等振興計画の策定 ・ 空き店舗バンク事業 ・ 香南カーニバル事業 ・ 地場産品販売促進事業 等
【工　業】　新工業団地整備事業・企業誘致条例の改正・中小企業者の生産性向上支援事業
商談会開催事業 等
【観　光】　香南市観光の発信 ・ 地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進事業
マリンスポーツの推進 等
【サイクリング】　新たな大会の創出（三宝山ヒルクライム）　等　※ サイクリング事業はR4年度より香南市自転車活用推進計画」により経過や確認を行っていく。

ポイント１、２により生み出された『仕事』と、ポイント３、４により生み出された『担い手（人材）』をより確実につなげていく！！

6 第2期香南市産業振興計画の取り組みを検証するための数値目標

目指す将来像
◇ 地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市
◇ 次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

目指す将来像の実現！

戦 略 より力強い「産業の拡大」を図るため、分野を超えた連携の強化、新たな付加価値化の創出、担い手の確保、人材育成策を推進することで、所得の向上につなげ、魅力ある産業化に向けた取り組みを進める。

計画全体を貫く目標 ①

➢ 1次産業の安定生産の体制づくり、生産量を増やし、市の総生産額を上げる。
地場生産品の安定 → 市内の経済活動の活性化

（今後5年の見通し）
➢ 担い手の確保・人材育成策による「人材」の確保。
➢ 魅力ある産地化に向けた取り組みを強化し、各産業の所得向上につなげる。
➢ 各産業における魅力の発信を強化。

□ 魅力ある第一次産業を作り上げていくことで、担い手の確保と産業の拡大を図り、地場産業の安定につなげる。
□ 魅力ある産地化を進め、発信することで担い手の確保に繋げていく。

計画全体を貫く目標 ②

➢ バランスのとれた産業構造として、就業人口、従業人口が整い、住と職がバランスよく、住みながら働く場・雇用の確保ができる

（今後5年の見通し）
➢ 企業誘致等の取り組みによる「働く場」づくりの創出。
➢ 有効求人倍率の上昇。
➢ 各産業の取り組みにより生産額が増加。
➢ ものづくりの地産地消の徹底により、市外へのお金の流出を食い止める。

□ 産業振興計画による魅力ある雇用の場を創出していくことで、雇用の場が増え、香南市で育った若者が市内で働くことができる状況を目指す。
□ さらに、市外からの受入も可能にすることで、人口社会増に繋げていく。

引き続き、計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルにより、数値目標の到達状況を定期的に点検・検証を行います。

◎地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造の構築
◎学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する

	農業分野	林業分野	水産業分野	商業分野	工業分野	観光分野	サイクリング専門委員会	住宅分野
各分野の戦略の柱	◆ 担い手確保に向けた取り組み ◆ 経営改善・農地維持への取り組み ◆ 基盤整備・防災への取り組み	◆ 森林環境の保全に向けた取り組み ◆ 啓発・普及への取り組み	◆ 地産の強化に向けた取り組み ◆ 流通・販売の強化に向けた取り組み ◆ 担い手の確保に向けた取り組み	◆ 空き店舗の活用に向けた取り組み ◆ 担い手確保に向けた取り組み ◆ 商業支援の取り組み	◆ 企業誘致の促進に向けた取り組み ◆ 既存企業の育成・支援に向けた取り組み	◆ 香南市の観光発信に向けた取り組み ◆ 観光の育成に向けた取り組み ◆ 受け入れ態勢の強化に向けた取り組み	◆ 環境の整備に向けた取り組み ◆ 市民を対象とした健康づくりに向けた取り組み ◆ サイクリングを中心とした 観光に向けた取り組み	◆ 住環境の整備を支援する取り組み ◆ 空き家対策に向けた取り組み
分野を代表する目標 数値目標	新規就農者数（※1）	間伐面積（※2） NEW	沿岸漁業総生産額（※3） NEW	商業者数（※4） NEW / 新規事務系企業数（※5） NEW	製造品出荷額（※6） / 新規雇用者数（※7） NEW	観光施設入込客数（※8）	サイクリングイベント等参加者数（※9） NEW / サイクルサポーター数（※10） NEW	
5年後（R6年度末）	50人（累計）	231ha（累計）	1,475百万円（累計）	758事業所 / 10企業（累計）	2,000億円（累計） / 63人（累計）	569万人（累計）	4,170人（累計） / 30団体（累計）	
直近値	56人（H27～R元年度実績）	120.1ha（H27～H30年度実績）	1,073百万円（H27～H30年度実績）	813事業所（H30実績） / －	1,931億円（H27～R元年度実績） / －	523.4万人（H27～R元年 実績）		
産業振興計画開始時目標（H27）	10人/年	－	－	－ / －	500億円/年 / －	100万人 / 年		

サイクリングに関する事業は、R3年度に策定された「香南市自転車活用推進計画」により経過や確認を行っていくことから、R4年度より当計画から削除。

住宅分野は、当市の産業振興を加速させていくためには、市民の暮らす環境を充実させていくことが重要をとの思いから設置され、まち・ひと・しごと創生総合戦略の「まち」に繋がる施策を検討してきましたが、各事業が直接産業振興に寄与することは少なく、また、数値目標も示すことが難しいことから、R4年度より、当計画から削除する。

※1 高知県中央東農業振興センターが毎年公表する新規就農者数（前年度実績）
※2 緊急間伐総合支援事業 と 森林管理制度関伐委託業務の合計値
※3 高知県漁協（手結・赤岡・吉川）及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額
※4 香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類（大分類）のF～O・Q・Rに分類される事業所数
※5 香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数
※6 工業統計調査（調査年は前年度の製造品出荷額）
※7 市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数
※8 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。（暦年 1-12月の合計）
対象施設（10施設） ①県立のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シィパーク ④鈴金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐カントリークラブ
※9 対象イベント・大会 ① 三宝山ヒルクライム 、②ツール・ド・トレイン 、③ポタリング 、④ シクロクロスカップ 、⑤ 3市ロングライド（ 調整中 ※ R3より ）、⑥健康サイクリング（市民向け） ：R4年度より当計画から削除
※10 香南市の自転車利用促進の考えに参画し、活動する事業所・団体 （事業所も団体としてカウント表記） ：R4年度より当計画から削除

12

第2期香南市産業振興計画 体制図

目指す将来像

◇ 地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市
◇ 次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

戦 略

より力強い「産業の拡大」を図るため、分野を超えた連携の強化、新たな付加価値化の創出、担い手の確保、人材育成策を推進することで、所得の向上につなげ、魅力ある産業化に向けた取り組みを進める。

香南市産業振興計画 策定委員会

香南市産業振興計画」の策定や、PDCAサイクルによる点検・検証を実施！

【構成】
産業及び経済団体の関係者、住民の代表者、香南市農業委員会の代表者、学識経験者、関係行政機関の職員

幹事会

委員会の所掌事務をサポート！

【構成】
市長・副市長・農林水産課・商工観光課・~~建設課・地域支援課~~・企画財政課・総務課・情報政策課（R5年度より追加）・~~生涯学習課~~・県 地域支援企画員（総括）等

「産業成長戦略」
行政が主導で進める取組

農業分野	林業分野	水産業分野	商業分野	工業分野	観光分野	~~サイクリング~~	住宅分野
農業部会	林業部会	水産業部会	商業部会	工業部会	観光部会	~~サイクリング専門委員会（※）~~	住宅部会
【事務局】農林水産課	【事務局】農林水産課	【事務局】農林水産課	【事務局】商工観光課	【事務局】商工観光課	【事務局】商工観光課	~~【事務局】商工観光課~~	~~【事務局】~~ 建設課、住宅管財課、防災対策課、地域支援課

香南市産業振興計画を着実に推進できる体制を築くため、香南市産業振興計画推進分野別部会を設置し、部会と事務局が連携し、計画の進捗状況の検証及び評価並びに修正及び追加に係る検討、施策の検討、情報収集、課題共有、解決に向けた協議を行います。

サイクリングに関する事業は、R3年度に策定された「香南市自転車活用推進計画」により経過や確認を行っていくことから、R4年度より当計画から削除。

~~事業等について担当課が検討し、共有しながら部会を構成。~~

住宅分野は、当市の産業振興を加速させていくためには、市民の暮らす環境を充実させていくことが重要をとの思いから設置され、まち・ひと・しごと創生総合戦略の「まち」に繋がる施策を検討してきましたが、各事業が直接産業振興に寄与することは少なく、また、数値目標も示すことが難しいことから、R4年度より、当計画から削除。

具体化

「地域活性化策」

市民や地域、団体、企業等が主体となり進める取組

- 民間事業者
- 高知県農業協同組合
- 香南市商工会
- （一社）香南市観光協会
- （一社）物部川DMO協議会 等

戦略化

（※）
部会の取組について具体的かつ横断的に推進するため、香南市産業振興計画推進分野別専門委員会を置き、専門的な取組の進捗状況の検証や評価、修正及び追加に係る検討を行います。
なお、自転車推進計画で経過の確認を行っていくため、サイクリング専門委員会はR4年度より当計画から削除します。
また、住宅部会についても、左記記載理由から当計画より削除します。

香南市産業振興計画
分野別部会の取組について
（令和6年度版）

- 農業分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8−1
- 林業分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8−2
- 水産業分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8−3
- 商業分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8−4
- 工業分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8−5
- 観光分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8−6
- 新規・拡大事業一覧（一覧）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8−7
- 産業人材の育成・確保に向けた取り組み・・・・・・・・・・・・・・・ 8−8

8-1 第2期香南市産業振興計画の主な取り組み 【農業分野】

数値目標（単位）	基準値（R元年度末実績）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 新規就農者数（人/年）	9	10	10	10	10	10	50人（5年間累計）

（備考） 新規就農者数 ： 高知県中央東農業振興センターが公表する新規就農者数。(前年度実績)

現状

現況事業 R2 → R3 → R4 → R5 → R6（R6年度末のあるべき姿）

令和６年度の取り組み

（R6年度）「新規就農者数 10人 の獲得」

担い手確保に向けた取り組み

○ 担い手確保に向けた取り組み

1. **新規就農者総合対策事業（就農準備資金）**： 新規就農者の確保及び育成 [実施主体 ： 高知県・香南市]
2. **雇用就農資金** ： 雇用就農者の確保及び育成 [実施主体 ： 高知県]
3. **担い手支援事業**
   - **青年農業者支援区分** ： 新規就農者の確保及び育成 [実施主体 ： 高知県・香南市]
   - **後継者育成支援区分** ： 農業後継者の確保及び育成 [実施主体 ： 高知県・香南市]
4. **新規就農者総合対策事業（経営開始資金）**： 新規就農者の初期費用の負担の軽減 [実施主体 ： 高知県・香南市]
5. **農業後継者推進事業** ： 農業後継者の確保及び育成を図る [実施主体 ： 香南市]
6. **モニターツアー事業** ： 営農を検討している方を対象に農作業体験を実施 [実施主体 ： 香南市]

【担い手確保に向けた取り組み】

各イベントで就農PR
↓
就農準備段階でのサポート
↓
就農後のサポート
（実践型研修ハウスの活用）
↓
地域で暮らし、稼げる農業の確立

経営改善・農地維持に向けた取り組み

○ 経営改善・農地維持に向けた取り組み

1. **園芸用ハウス整備事業** ：新規就農・規模拡大する農業者のハウス建設に対し助成 [実施主体 ： JA高知県]
2. **園芸用ハウス等リノベーション事業**：環境制御装置の導入に対し助成 [実施主体 ： 香南市]
3. **産地パワーアップ事業** ：産地の高収益化に向けた取り組みを総合的に支援 [実施主体 ： 香南市]
4. **地域計画の策定** ：地域にある農地や後継者の現状を把握し、未来に向けた設計 [実施主体 ： 香南市 ・農業委員会]
5. **農産物のブランド化の推進（みかん）**：所得の向上や雇用促進、地域活性化を図る [実施主体 ： (株)山北みらい]
6. **農産物の販売力の推進（ニラ）** ：規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対し、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。 [実施主体 ： JA高知県等]
7. **中山間地域等直接支払事業** ：中山間地域の農業生産条件が不利な地域の保全、活用を推進 [実施主体 ： 香南市]
8. **多面的機能直接支払事業** ：農地や農業用水路等の保全と質的向上 [実施主体 ： 活動組織]
9. **有害鳥獣被害対策実施事業** ：有害鳥獣を駆除して農地を守る [実施主体 ： 猟友会等]
10. **有害鳥獣被害防止事業** ：有害鳥獣が農地に入らないように、柵の設置を推進 [実施主体 ： 香南市]

【経営改善・農地維持に向けた取り組み】

農地プランの実質化
↓
耕作放棄地の減少・新規就農者の農地確保地域がまとまり、地域で農地を守っていく

基盤整備・防災への取り組み

○ 生産基盤の整備・防災への取り組み

1. **耕作条件改善事業** ： 土居・徳王子地区測量設計、白岩地区事業採択へ向けて調整、工事箇所の選定 [実施主体 ： 香南市]
2. **重油流出防止付燃料タンク整備事業**： 重油タンク転倒時の流出防止付き燃料タンクの整備 [実施主体 ： JA高知県 等]

【基盤整備・防災への取り組み】

安心で経営しやすい農業施設の整備を進める。

★R6年度 バージョンアップ【PICK UP!】 ： 地域計画の策定

（R6年度末）新規就農者数 累計 50人 の達成へ！

8-2 第2期香南市産業振興計画の主な取り組み（令和６年度版） 【林業分野】

数値目標（単位）	基準値（H30年度末実績）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
間伐面積(ha)	34.5	25	40	50	65	51	231ha（5年間累計）

現状

（R６年度）「間伐面積 51 ha 実施」

現況事業

R2 → R３ → R4 → R5 → R6（R6年度末のあるべき姿）

令和６年度の取り組み

森林環境の保全に向けた取り組み

○ 森林の管理

1.意向調査の実施　[事業主体：香南市]

・森林所有者に「今後の森林の管理」について意向調査を実施。
・実施区域を地籍調査が完了している夜須町細川及び地籍調査未実施の夜須町沢谷で実施(森林環境譲与税を活用)
・野市町内での調査実施に向けた調整

○ 森林境界明確化事業の実施

1.森林管理制度森林境界明確化委託事業
・森林境界明確化　[事業主体：香南市]

○ 間伐事業の実施

1．間伐事業　（保育・搬出間伐）
[事業主体：森林組合]

拡 **2．夜須町細川での森林整備についての計画を作成する。**

【森林環境保全に向けた取り組み】

意向調査の実施により整備されていない森林の把握、管理体制を整備する。

↓

森林境界明確化を実施し、施業地の団地化につなげる。

↓

間伐を実施することにより森林の持つ
・水源かん養機能
・減災機能
・生態系保全機能」等の維持・増進
につなげる。

間伐面積　231ha（5年間累計）

啓発・普及への取り組み

○ 山や森林に親しむ機会の提供

1. 木育事業

・図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントを開催
・市内の保・幼・小・中学校の授業や行事での森林体験学習の実施
・木育事業全般に係る周知活動
・香南市の森からの贈り物事業（市内の乳児に木製玩具を贈呈）
・市内の小・中学校に県産材を使った木製備品を贈呈

[事業主体：香南市・高知県森と緑の会等]

木育事業の様子

【啓発・普及への取り組み】

香南市内の子どもたちの
山や木に対する知識・関心
の向上

★R6年度 バージョンアップ【PICK UP!】：夜須町細川での森林整備についての計画を作成する。

（R６年度末）「間伐面積 累計 231 ha の実施」の達成へ！

8-3 第2期香南市産業振興計画の主な取り組み 【水産業分野】

数値目標（単位）	基準値（H30年度末実績）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
沿岸漁業総生産額（百万円/年）	358	285	290	295	300	305	1,475百万円（5年間累計）

（備考）沿岸漁業総生産額 ： 高知県漁協（手結・赤岡・吉川）及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額

現状 → 現況事業 → R2 → R3 → R4 → R5 → R6（R6年度末のあるべき姿）

令和６年度の取り組み

（R6年度）「沿岸漁業総生産額 305 百万円」

地産の強化

○ 生産基盤の充実 [事業主体：香南市]
- 1.水産機能施設の整備 水産機能施設 （吉川漁港荷捌所ホイストクレーン改修・吉川漁港梯子設置工事、赤岡グレーチング改修）
- 2.漁港施設の整備 水産基盤ストックマネジメント事業（長寿命化）・漁港海岸の耐震化（吉川漁港海岸）

○ 漁業者の生産性向上 [事業主体：漁業者・香南市]
- 1.漁船導入支援事業
  - ・漁船導入支援事業（漁船リース）による支援、沿岸漁業設備投資促進事業費補助金の活用

○ 漁場の保全 [事業主体：関係機関・漁業者・漁協・高知県・香南市]
- ・藻場保全 掃海活動 等
- ・内水面：河川環境の保全（関係各課との連携による保全活動への参加）

流通・販売の強化

○ 市内水産物の認知度向上（ブランド化） [事業主体：関係機関・漁協・高知県・香南市]
- 1.市内水産物の魚価向上
- ・ 他分野との連携による市内水産物の利活用の検討
  - ▷ 水産業関係者と連携可能な事業所とのマッチング等 ▷ 新商品の開発を視野
- ・ 各種飲食店への市内水産物の利用の促進
  - ▷ 漁村情報発信ポータルサイトへの掲載 ▷ 未使用店舗への利用促進 ▷ 地元におけるPR体制づくり
- ・ 内水面漁業関係者への定期的なヒアリング継続 ： 振興策の検討

- 2.高知県漁協手結支所の販売額
- ・【シイラ等】県漁協手結支所販売事業への支援
  - （R5） ・ 取扱量維持に向けた商品を展開するための凍結機器の検討
  - ・ ニーズに対応するため販売者に対して聞き取り等実施

- 3.シラス加工品販売額
- ・【シラス】魚価向上に繋がる加工業者へのヒアリングの継続
  - ▷ 商業・工業関係支援策との調整 ▷ 設備投資支援策等

○ 学校給食等への納入 [事業主体：漁協・香南市]
- 1.市内水産物（シイラ・かちりじゃこ）の給食センター等への納入

担い手の確保

○ （一社）高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保 [事業主体：高知県漁業就業支援センター・香南市]
- 1.担い手の確保事業
- ・自営漁業者育成事業 ・漁家子弟支援事業 ・雇用型漁業支援事業
- ・各種支援制度の説明会の開催（既存漁業者対象）

○ 水産業に親しむ場づくり [事業主体：学校・高知県・香南市]
- ・調理体験等の実施 ・水産業紹介教材の活用

【戦略の柱：地産の強化】
○漁業設備導入支援・生産基盤整備

効率的な生産体制の構築による漁業生産の維持

【戦略の柱：流通・販売の強化】
○地元から全国へ発信！
（新商品の開発）
（市内水産物の飲食店での利用）

○主要水産物販売額
・県漁協手結支所販売額
54,000千円/年

香南市ブランドの確立による認知度向上

【沿岸漁業総生産額】
305百万円/R6年度末の達成へ

【戦略の柱：担い手の確保】
持続可能な水産業のため

【担い手の確保】
（5名/5年間累計）

（R6年度末）沿岸漁業総生産額 累計 1,475 百万円の達成へ！

★R6年度新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】： ○水産業紹介教材の利用状況の活用 ○漁村情報発信ポータルサイト等への掲載の増加、
○バッチ漁に必要な2隻の漁船がそれぞれ魚探モニターを設置し効率的に漁を行うための沿岸漁業設備投資促進事業費補助金の活用

8-4 第2期香南市産業振興計画の主な取り組み 【商業分野】

数値目標（単位）	基準値（H30年度末実績）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 商業者数（事業所）	813	813	773	768	763	758	事業所（R6年度末）
②新規事務系企業数（企業）	－	2	2	2	2	2	10企業（5年間累計）

（備考） 商業者数 ： 香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類（大分類）のF～O・Q・Rに分類される事業所数 ※R3年度より数値目標を再設定。
新規事務系企業数： 香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数

現状 | 現況事業 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6（R6年度末のあるべき姿）

令和６年度の取り組み

（R6年度）商業者数 758 事業所・新規事務系企業数 2 企業

空き店舗活用に向けた取り組み

○ 空き店舗対策

1.中心市街地活性化計画の実行推進：地域商業を活性化させるため策定された計画の実行推進
[実施主体：香南市、商工会、地域商業者]

2.空き店舗情報の発信：市内の空き店舗情報を発信 [実施主体：香南市、商工会]

3.空き店舗等対策事業：空き店舗を活用した創業を支援 [実施主体：香南市、商工会]

4.空き店舗等を活用した事務系企業の誘致
包括協定を締結したイシン（株）と連携した事務系企業の誘致
[実施主体：香南市]

【空き店舗の活用】

・空き店舗を活用した創業 累計 10 件
・新規事務系企業 累計 10 企業

空き店舗の活用により、地域商業のにぎわいを創出させ、市民の多様なニーズに応えられるまち

担い手の確保に向けた取り組み

○ 担い手の確保・育成

1.事業承継の推進：事業者へのヒアリング調査及び支援機関の紹介
事業承継に関する支援制度創設の検討
[実施主体：商工会、香南市、事業承継・引継支援センター]

2.人材の確保：未来人材育成奨学金返還助成事業 [実施主体：香南市]

3.創業支援事業計画：支援機関との協働での創業支援 [実施主体：香南市、商工会]

4.創業支援利子補給金事業：創業時の経済的負担を緩和し、創業を促進 [実施主体：香南市、商工会]

【担い手の確保】

・創業者数 累計 30人
・事業承継事業者数 累計 19者

創業促進や事業承継の推進等により地域商業を維持しているまち

商業支援

○ 商業支援

1.中小企業者等信用保証料補給金事業：事業者の資金繰り支援の実施 [実施主体：香南市]

2.企業魅力発信動画制作支援事業：市内企業の魅力を発信する動画作成を支援
[実施主体：香南市、商工会]

3.各種セミナーの開催：経営等に関するセミナーの実施 [実施主体：商工会、香南市]

4.地場産品販売促進事業：ギフトカタログやふるさと納税応援寄付金を通じて地元事業者の売上増につなげる [実施主体：観光協会、香南市]

5.住宅リフォーム推進事業：リフォーム事業を通じて、地元事業者の売上増につなげる
[実施主体：香南市]

【商業支援】

・地場産品販売額 13,020万円

既存事業者が持続的に発展できるまち

（R6年度末）数値目標
① 商業者数 累計 758 事業所
② 新規事務系企業数 累計 10 企業 の達成へ！

★ R6年度継続事業 【PICK UP！】：中心市街地活性化計画の実行推進

8-5 第2期香南市産業振興計画の主な取り組み 【工業分野】

数値目標（単位）	基準値（R元年度末実績）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 製造品出荷額(億円)	344	360	380	400	420	440	2,000億円（5年間累計）
② 新規雇用者数（人）	―	5	8	19	16	15	63人（5年間累計）

（備考） 製造品出荷額 ： 経済構造実態調査（調査年は前年度製造品出荷額） / 新規雇用者数 ： 市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数

現状 → 現況事業 → R2 → R3 → R4 → R5 → R6（R6年度末のあるべき姿）

令和6年度の取り組み

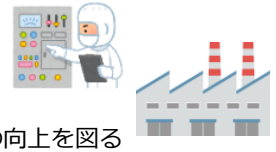
現状（R6年度 製造品出荷額等 440 億円 ・ 新規雇用者数 15 人）

企業誘致の促進

○ ものづくりの基盤整備

1.香南市企業立地促進事業 【利用件数 1件】 [実施主体：香南市]

立地企業の用地取得や設備投資に伴う負担を軽減し、雇用の促進と生産性の向上を図る



【企業誘致の促進】

○ものづくり企業の強化につながる企業立地

↓

○雇用の創出・生産性の向上・税収の確保

↓

拡大再生産による雇用の拡大と地域の賑わい創出

既存企業の育成・支援

○ 中小企業の技術向上＆経営革新の支援

1. 商談会開催事業 【商談件数 50件】 [実施主体：香南市・高知県産業振興センター]

高知県産業振興センターが主催する商談会に参加し、市内中小企業の受注拡大を図る

2. 香南市産業人材育成事業 【利用件数 5件】 [実施主体：香南市]

人材育成に係る研修への参加や社内研修等の実施を支援し、従業員のスキルアップを図る

3. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 【利用件数 5件】 [実施主体：香南市]

雇用の確保と市内への定着を図ることを目的に、従業員の奨学金返還を支援する

4. 合同企業説明会の開催 【合同企業説明会の開催 2回】 [実施主体：香南市・高知県]

市内施設や城山高等学校で合同企業説明会を開催することで、雇用の促進と若者の地元定住を図る

5. ものづくり教育推進事業 【工場見学及びものづくり体験学習の実施 1回】 [実施主体：香南市]

次代を担う小中学生や高校生の工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施する

【既存企業の育成・支援】

○市内企業を元気にする取組を重視（技術向上・製品開発支援）
○人材の育成・確保・活用支援
○企業交流の基盤づくり
○次代を担う世代のものづくり教育の推進

↓

香南ブランドの構築

優れた技術・製品を全国・世界へ！

↓

ものづくり企業が輝き躍動する香南市！

（R6年度末）数値目標

② 新規雇用者数 累計 63 人以上

① 製造品出荷額等 累計 2,000 億円 以上

の達成へ！

★令和６年度継続事業

・香南市企業魅力発信動画制作支援事業費補助金　先端設備等導入支援事業費補助金　・香南市技能功労者表彰

8-6 第2期香南市産業振興計画の主な取り組み 【観光分野】

数値目標（単位）	基準値（R元年末 実績）※1 暦年のため 年末表記	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
観光施設入込客数（万人）	104.5 ※2（11施設）	107	110	114	117	121	569万人（5年間累計）

※1 暦年：1-12月を指す。 ※2 第1期(H27-R元)は備考欄10施設に加え、香南市サイクリングターミナルの宿泊以外の利用者数を計上。

（備考） 観光施設入込客数 ： 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。
対象施設（市内10施設）： ①県立のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐カントリークラブ

現状

現況事業：R2 → R3 → R4 → R5 → R6（R6年度末のあるべき姿）

令和６年度の取り組み

（R6年度）「観光施設入込客数 121 万人」

香南市観光の発信

○ **情報発信手段の効果的な活用**

1. **香南市のPR活動** [実施主体：（一社）香南市観光協会・物部川DMO協議会]
   日曜市や高知新港への出店等イベントでの観光・特産品PRを行い、認知度向上につなげる。
2. **HP等を活用した観光情報の発信** [実施主体：香南市、（一社）香南市観光協会]
3. **SNSを利用した情報発信** [実施主体：香南市、（一社）香南市観光協会]
   様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信

【香南市観光の発信】

香南市の観光情報を各媒体を活用して広く発信し、認知度の向上や観光客の増加につなげる。TVらんまんや関西圏へのPRも絡めていく。

☞ 観光施設入込客数 累計 569万人へ

観光の育成に向けた取り組み

○ **核となる観光拠点の形成** ※高知県地域アクションプランより

1. **ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト** [実施主体：(株)ヤ・シィ・高知県・香南市]
   ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施、レンタサイクルの運用
2. **三宝山エリア観光拠点化事業** [実施主体：井上ワイナリー(株)/井上石灰工業(株)・高知県・香南市]
   地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業

○ **広域観光の推進**

1. **物部川エリア広域観光連携事業** ※高知県地域アクションプランより [実施主体：（一社）物部川DMO協議会・高知県 等]
   地域連携による周遊促進・観光客の広域誘致等

○ **スポーツツーリズムの推進**

1. **サイクリングイベントの開催** 自転車を通じた香南市のPR（香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン等）サイクリスト誘致 等※ 香南市自転車活用推進計画
2. **塩の道を活用したイベントの開催** 次世代への継承と観光誘致 [実施主体：（一社）香南市観光協会・土佐塩の道保存会]
3. **マリンスポーツの振興** マリン体験事業、マリンスポーツ大会の開催 [実施主体：NPO法人YASU海の駅クラブ]

【香南市観光の育成】

◆ **香南市の観光拠点の整備**
- 香南市の観光を確立させていくことで、新規観光拠点の確立へとつなげる。

◆ **香南市・香美市・南国市と連携した周遊観光の実現**
- 物部川地域の多様な観光資源を組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに地域の観光資源を磨上げ、観光客の広域的な誘致を推進する。

◆ **スポーツツーリズムの確立**
- 香南市内の資源を活用したスポーツイベントを開催し、スポーツに関心のある観光客の増加や関連施設の所得増加につなげる。

☞ 観光施設入込客数 累計 569万人へ

受入体制の強化

○ **おもてなしの向上**

1. **香南市案内人会の拡充** 会員確保のための広報活動、受け入れ態勢の強化。 [実施主体：香南市案内人会]
2. **観光客受入研修の実施**
   観光客受入研修の実施
   観光アドバイザーによる観光施設との個別相談を実施 [実施主体：（一社)物部川DMO協議会]
3. **アンケート調査の実施** [実施主体：（一社)物部川DMO協議会]
   市内主要観光施設においてアンケートを実施し、観光客ニーズと消費傾向を把握する。

【受入体制の強化】

◆ **おもてなしの向上**
- 満足度の向上を図り、リピーター及び香南市ファンを増加させていく。
- 外国人対応の可能な人材を育成し、訪れやすいまち香南市へとつなげていく。

☞ 観光施設入込客数 累計 569万人へ

（R6年末）数値目標「観光施設入込客数 累計 569 万人」の達成へ！

☆R6年度 【PICK UP！】 ：関西圏へのPR強化や2025年の連続テレビ小説「あんぱん」放送決定に伴い3市連携による誘客促進を進める

Ｒ６年度の目玉事業

拡大

夜須町細川での森林整備についての計画を作成！（林業分野）

地籍調査実施済みであり、境界が確定している夜須町細川地区において、R4年度から意向調査を実施している。
森林所有者情報や森林所有者の今後の管理に関する意向を踏まえた上で、夜須町細川での森林整備について、林業事業体と意見交換をし、計画を立てる。

継続

水産業紹介教材の活用！（水産業分野）

香南市内の子どもたちは、学校給食を通じて、地元水産物への理解を深めたり、魚の三枚おろし体験、釜揚げ体験等を通して、地元水産物の活用等について学んでいる。
しかし、「地場産品の漁獲から加工まで」を知る機会は少ない。

※農業のように栽培から収穫の体験は、漁船での漁獲となる等の危険及び人数制限もあり現実的でないことから、漁獲作業の体験学習が出来ない。

地場産品の理解を深める場の提供が課題！

このことから「地場産品の漁獲から加工まで」を知る機会を提供するために、令和４年度から取り組んでいた**市内の水産業を紹介する教材の活用をしてもらい水産業への理解を深め、地場産品や食文化への愛着や大切にする心を育てる。**

継続

地域商業を活性化させる取り組みを推進します！（商業分野）

中心市街地活性化計画の実行を推進！

（内 容）
地域事業者を中心として、**「香南市中心市街地活性化計画」**の推進を図り、中心市街地及び地域商業の活性化を目指します。なお、事業の実施にあたっては、「中心市街地活性化計画推進事業費補助金」による支援も行います。

■ 補助対象事業：中心市街地活性化計画に位置付けられた事業

＜Ｒ５年度取組実績＞
- スイーツ店を巡るスタンプラリーの開催
- フジグラン野市とコラボした市内事業者のPRイベントの開催

Ｒ５年度の取組の振り返りを活かしながら、より魅力的な取組を目指します！

**今後も、各部会･策定委員会等でいただきました
ご意見等を精査･検討し、新事業へと
繋げていきます！**

各分野における『産業人材の育成・確保』に向けた取り組み　（一覧）　【各分野の取り組みから抜粋】

➢　香南市の「将来の担い手である子供たちや親、学校の先生等を対象にした各分野の事業」や「新たなニーズに対応できる人材の育成に向けた事業」を抜粋。
各事業を継続的に行っていくことで、持続可能な産業構造へとつなげていく！

農業分野

食育を通じて香南市の農業を伝える！

- **市内産米の学校給食への供給（地産地消）**
  〈実施主体〉 香南市農業公社
- 香南市で収穫されたもち米による餅つき大会等を実施。
  〈実施主体〉　JA高知県香美地区青年部 等

林業分野

山や森林に親しむ企画の提供！

- **図書館等で子供たちを対象とした「木育イベント」の開催。**
- **保・幼・小・中学校を対象とした「森林体験学習」を実施。**
- **市内の小・中学校に県産材を使った木製備品を贈呈。**

〈実施主体〉　高知県森と緑の会 、香南市 等

水産業分野

食育を通じて香南市の水産業を伝える！

- **シラス・シイラの学校給食への供給（地産地消）**
  〈実施主体〉　高知県漁協、市内業者 等
- **水産業に親しむ場づくり**
  調理体験等を通じて香南市の漁業を伝える。
  〈実施主体〉　小中学校、行政 等

商業分野

奨学金の返済負担をサポート！

- 人材の確保と市への定着を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用された方、または本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成。
  （※ 商業分野以外の就職でも活用可）
  〈実施主体〉 香南市

工業分野

ものづくり教育推進事業！

- **次代を担う小中学生、高校生を対象として、市内工場の見学及び「ものづくり体験学習」を実施**
- ➢ 地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。

〈実施主体〉　香南市

観光分野

外国人観光客受入研修の実施！

- **観光関係事業者向けインバウンド研修を開催**
- ➢ 文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へつなげる。

〈実施主体〉（一社）物部川DMO協議会・香南市

※ 上記の事業は、香南市産業振興計画に未記載のものも記載。
※「新」・「拡」マークは令和2年度からの取り組む事業に対して記載。

第2期香南市産業振興計画
における
SDGsの取り組み

持続可能な開発目標（SDGs：ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙ・ﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄ･ｺﾞｰﾙｽﾞ）は17のゴールと169のターゲットから構成されています。
第2期香南市産業振興計画の取り組む方向性は、国際社会全体の開発目標であるSDGsの目指す17の目標とスケールは違うものの、その目指すべき方向性は同様であることから、香南市産業振興計画の推進を図ることでSDGsの目標達成にも資するものと考えます。
SDGsが掲げる17のゴールと、第2期香南市産業振興計画で設定する基本目標および具体的な取り組みとの関係を整理します。

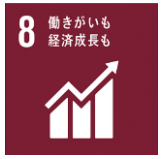
第２期 香南市産業振興計画 におけるSDGsの取り組み

SDGｓにおける17のゴール		SDGｓにおける169のターゲット	第2期 香南市産業振興計画 戦略	
			具体的な取り組み（分野）	備 考
	ゴール2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	2-3__2030 年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。	**（農業部会）** ・人・農地プランの実質化 ・中山間地域等直接支払事業 ・多面的機能支払事業 ・農産物の販売力の推進 ・~~モニターツアー事業~~ **モニターツアー事業はこれまでの参加者が新規就農につながった実績がなく、受け入れ農家の負担が大きいことから、R5年度より当計画から削除する。** **（水産業部会）** ・水産機能施設の改修・補修事業 ・漁港施設の整備事業 ・沿岸漁業設備投資促進事業 ・漁船導入支援事業	
		2-4__2030 年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靭（レジリエント）な農業を実践する。	**（農業部会）** ・園芸用ハウス整備事業 ・環境制御技術導入普及促進事業 ・産地パワーアップ事業 ・有害鳥獣対策事業 ・有害鳥獣被害防止事業 ・耕作条件改善事業 ・重油流出防止付燃料タンク整備事業 **（水産業部会）** ・市内水産物の魚価向上 ・高知県漁協手結支所の販売額 ・シラス加工品販売額 ・学校給食等への納入	

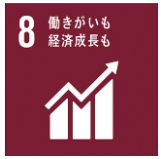
第２期 香南市産業振興計画 におけるSDGsの取り組み

SDGｓにおける17のゴール		SDGｓにおける169のターゲット	第2期 香南市産業振興計画 戦略	
			具体的な取り組み（分野）	備 考
	ゴール4 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	4-4__2030 年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。	**（農業部会）** ・新規就農者総合対策事業 （就農準備資金）（経営開始資金） ・雇用就農資金 ・担い手支援事業(専業農家育成区分・後継者育成区分) ・農業後継者推進事業 **（工業分野）** ・香南市産業人材育成事業 ・合同企業説明会 ・ものづくり教育推進事業	
		4-7__2030 年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なﾗｲﾌｽﾀｲﾙ、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。	**（林業部会）** ・木育事業 **（商業・工業部会・観光部会）** ・香南市未来人材育成奨学金返還助成事業	
		8-3__生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。	**（商業部会）** ・香南市緊急融資保証料補給金交付事業 ・創業支援利子補給金事業 ・各種セミナーの開催	

第２期 香南市産業振興計画 におけるSDGsの取り組み

SDGｓにおける17のゴール		SDGｓにおける169のターゲット	第2期 香南市産業振興計画 戦略	
			具体的な取り組み（分野）	備 考
	ゴール8 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	8-5__2030 年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。	（水産業部会） ・担い手の確保事業 ・自営漁業者育成事業 ・漁家子弟支援事業 ・雇用型漁業支援事業 （工業部会） ・商談会開催事業	
		8-9__2030 年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。	（農業分野） ・農産物のブランド化の推進（農業活性化地域協議会） （商業部会） ・商店街等振興計画の策定 ・空き店舗実態調査 ・空き店舗バンク ・空き店舗等対策事業費補助金 ・香南カーニバル ・人材ニーズの掘り起こし及び発信 ・創業支援事業計画 ・地場産品販売促進事業 （工業部会） ・中小企業者の生産性向上支援事業	

第２期 香南市産業振興計画 におけるSDGsの取り組み

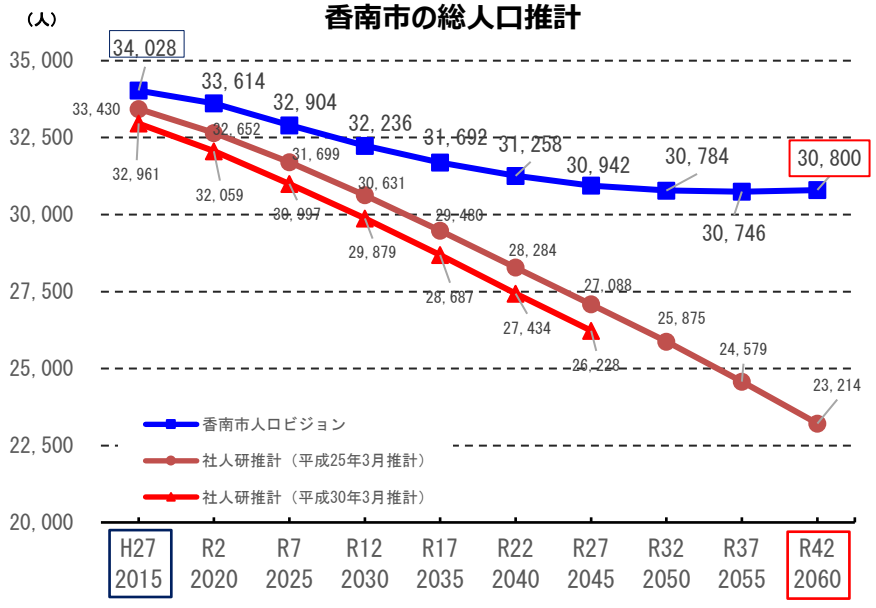
SDGｓにおける17のゴール		SDGｓにおける169のターゲット	第2期 香南市産業振興計画 戦略	
			具体的な取り組み（分野）	備 考
	**ゴール8** **すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する**	8-9__2030 年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。	**（観光部会）** ・観光・特産品PR 活動の強化 （高知新港・日曜市等） ・SNSを活用した情報発信 ・ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト （ヤ・シィ特産品（氷菓等）製造・販売施設整備事業含む） ・三宝山観光拠点化事業 （地域と連携した高知県産ワインブランド化促進事業） ・物部川エリア広域観光連携事業 ・塩の道を活用したイベントの開催 ・マリンスポーツの推進 （スポーツツーリズムの推進） ・香南市案内人会の拡充 ・外国人観光客受け入れ研修の実施 ・インバウンド研修 ・アンケート調査	
	ゴール9 **強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る**	9-2__包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。	**（商業部会）** ・事務系の企業誘致 ・事業承継の促進	

第２期 香南市産業振興計画 におけるSDGsの取り組み

SDGｓにおける17のゴール		SDGｓにおける169のターゲット	第2期 香南市産業振興計画 戦略	
			具体的な取り組み（分野）	備 考
	ゴール11__包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	11-3__2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。	（商業部会） ・住宅リフォーム推進事業	
	ゴール15__陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	15-2__2020 年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。	（林業部会） ・森林管理意向調査（森林環境譲与税活用） ・森林境界明確化委託事業 ・緊急間伐総合支援事業 ・森林管理制度間伐委託事業	

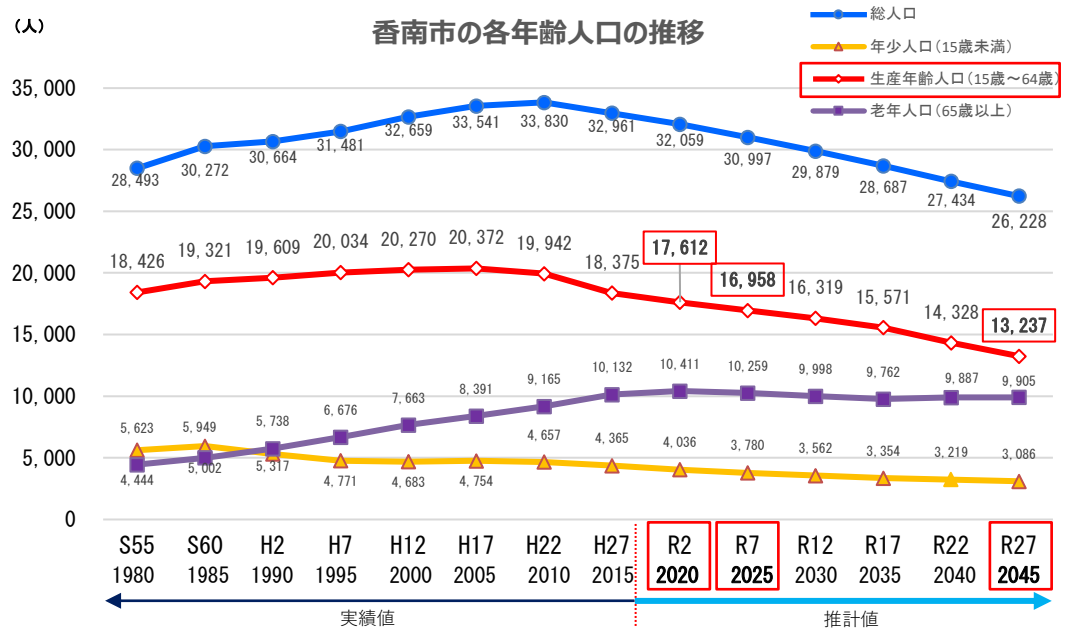
【参考資料】（第2期計画策定時の根拠数値）

香南市の総人口推計



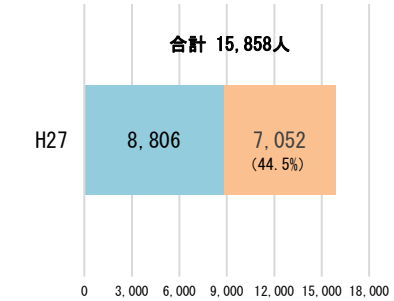
出典：国立社会保障・人口問題研究所、住民基本台帳

香南市の各年齢人口の推移



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】R2年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（H30年3月公表）に基づく推計値

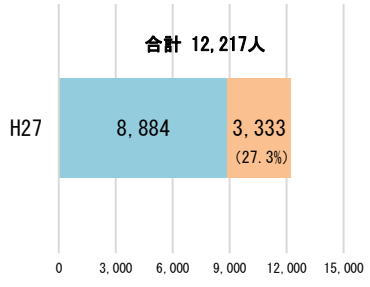
常住地による就業者数



	H27
香南市で従事する者	8,806
他市町村で従事する者	7,052

出典：平成27年国勢調査

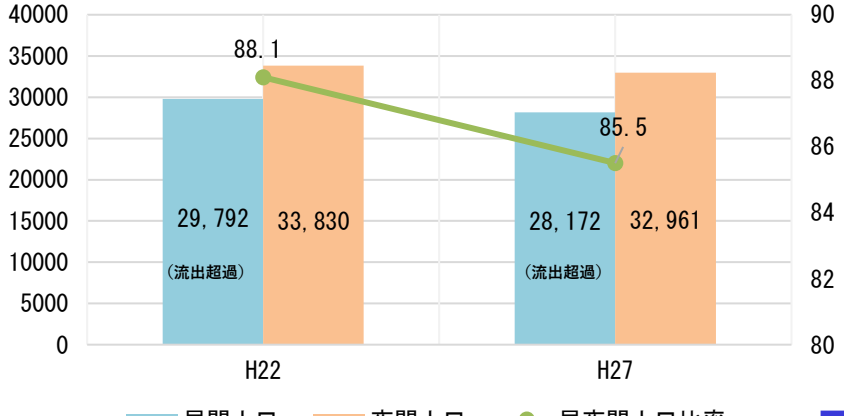
従業地による就業者数



	H27
香南市で働かれている市民の数	8,884
うち他市町村で暮らされている者	3,333

出典：平成27年国勢調査

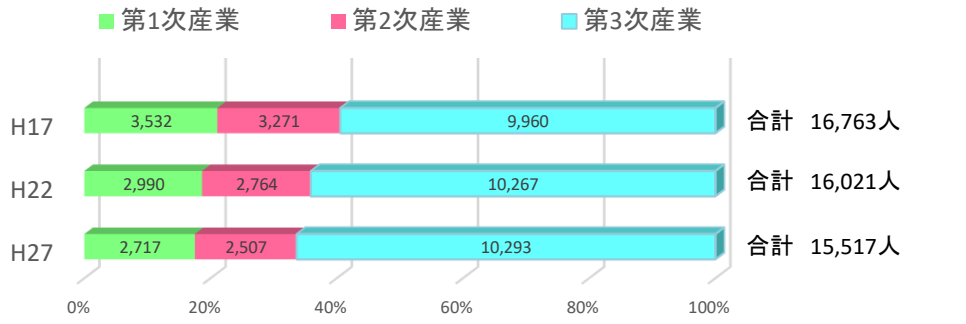
昼夜間人口比率



出典：平成27年国勢調査）

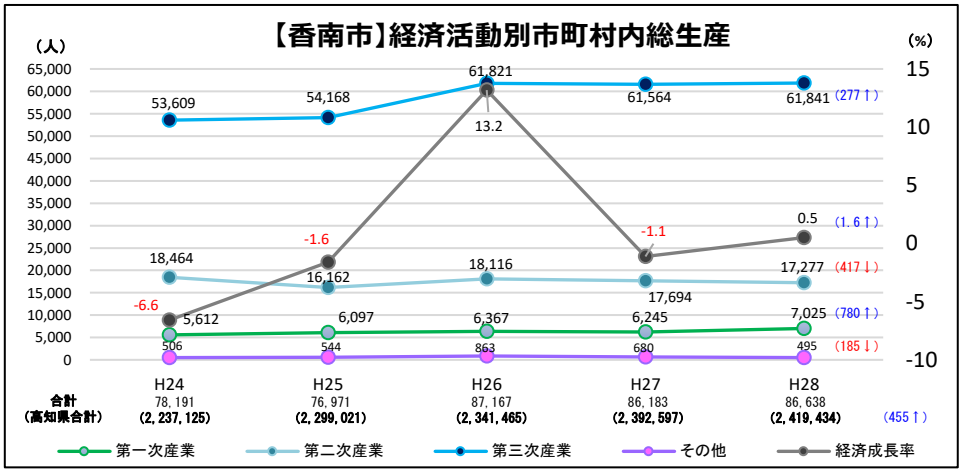
【参考資料】（第2期計画策定時の根拠数値）

香南市の産業別就業者の推移



出典：平成27年国勢調査

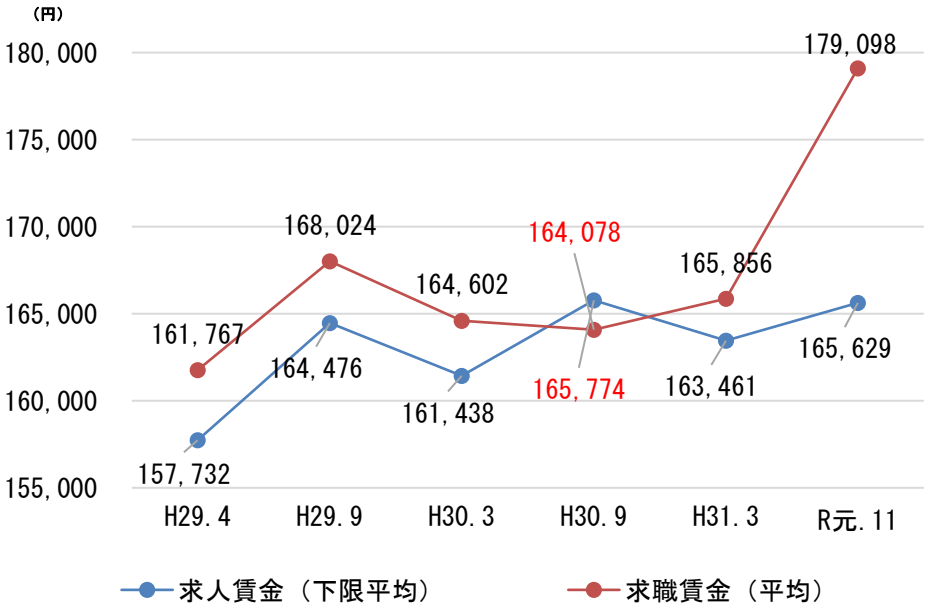
【香南市】経済活動別市町村内総生産



出典：高知県 市町村経済統計書

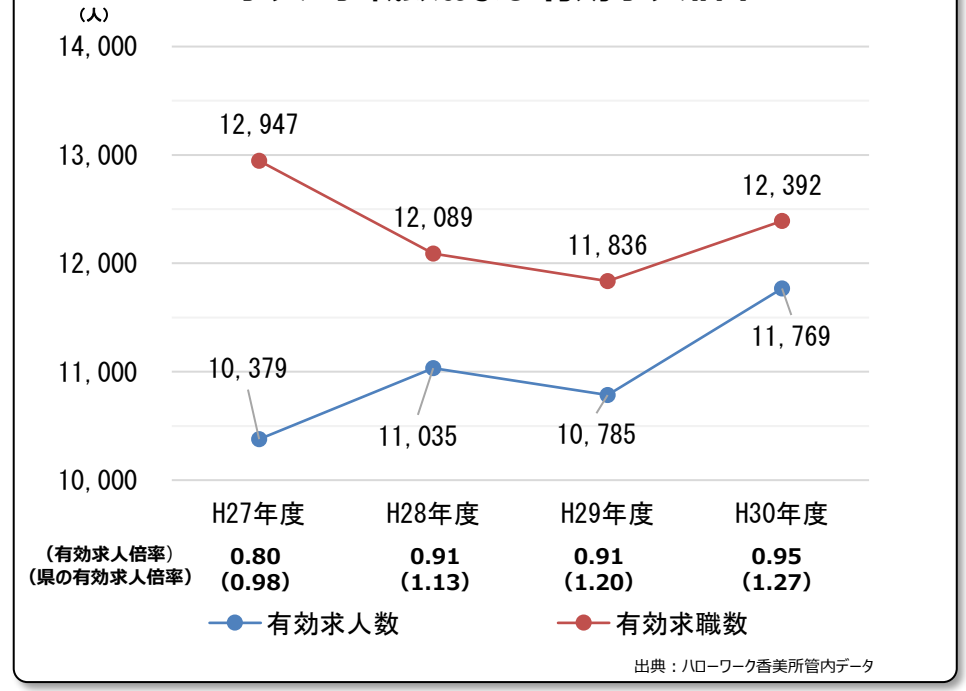
◆ 市町村経済統計の概念
・ 労働者や企業等の活動によって物やサービスが生産され、販売等を行うことにより生み出される新たな価値（付加価値）の合計。
※ 付加価値 ＝ （物やサービスの販売額 － 生産に要した費用）

求人賃金と求職者希望額



出典：ハローワーク香美所管内データ

求人・求職数および有効求人倍率



出典：ハローワーク香美所管内データ